日本地震学会 2025 年度秋季大会タイムテーブル

日程 2025年10月20日(月)~10月22日(水) 会場 福岡国際会議場(福岡県福岡市博多区)

【大会受付】4階ロビー(エスカレーター付近)

【A会場】5 階国際会議室 501

【B会場】4階会議室409 + 410

【C会場】4 階会議室 411 + 412

【D会場】4階会議室413 + 414

【授賞式および記念講演】A会場(B会場にも配信) 【ポスター会場】5階会議室502+503

【団体展示】5階ロビー

日付	時間	A会場	B会場	C会場	D会場				
	$09:00 \sim$ $10:30$ $10:45 \sim$ $12:15$	- S08. 地震発生の物理	S17. 津波	S06. 地殼構造	S22. 情報科学との融合による 地震研究の加速				
10 月	13:30 ~ 15:10	S20. 授賞式および記念講演 (A会場. B会場にも配信)							
(月)	15:30 ~ 17:00	S08. 地震発生の物理	S04. テクトニクス		S22. 情報科学との融合による 地震研究の加速				
	17:15 ~ 19:00	ポスターセッション S02. 地震計測・処理システム,S04. テクトニクス,S06. 地殻構造,S08. 地震発生の物理,S11. 地震に伴う諸現象,S17. 津波, S18. 地震教育・地震学史,S19. 地震一般・その他,S22. 情報科学との融合による地震研究の加速, S23. 群発地震の発生メカニズムの解明に向けて							
	09:00 ~ 10:30	S08. 地震発生の物理	S18. 地震教育・地震学史 S23. 群発地震の発生メカニズム の解明に向けて	S02. 地震計測・処理システム	S21. 惑星地震学				
	10:45 ~ 12:15		S23. 群発地震の発生メカニズム の解明に向けて	S02. 地震計測・処理システム S14. 地震予知・予測	S21. 惑星地震学 S10. 活断層・歴史地震				
	13:30 ~ 15:00	S08. 地震発生の物理 S11. 地震に伴う諸現象	S23. 群発地震の発生メカニズム	COO III TO THE OWING THE	S10. 活断層・歴史地震				
10月 21日 (火)	15:15 ~ 16:45	S09. 地震活動	の解明に向けて	S03. 地殻変動・GNSS・重力	S15. 強震動・地震災害				
	17:00 ~ 18:45	ポスターセッション S01. 地震の理論・解析法, S03. 地殻変動・GNSS・重力, S05. 地球熱学, S07. 地球及び惑星の内部構造と物性, S09. 地震活動, S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力, S13. 地殻流体と地震, S14. 地震予知・予測, S15. 強震動・地震災害, S16. 地盤構造・地盤震動, S21. 惑星地震学, S24. 兵庫県南部地震から 30 年:内陸地震研究・ハザード予測の進展と展望, S25.2025 年 7 月 30 日カムチャツカ半島地震							
	19:00 ~ 21:00	懇親会 (会場:福岡サンパレス)							
	09:00 ~ 10:30	S24. 兵庫県南部地震から 30 年: 内陸地震研究・ハザード予測の 進展と展望			S05. 地球熱学 S07. 地球及び惑星の内部構造と 物性				
10月 22日 (水)	10:45 ~ 12:15	S24. 兵庫県南部地震から 30 年: 内陸地震研究・ハザード予測の 進展と展望 S01. 地震の理論・解析法	S09. 地震活動	S15. 強震動・地震災害	S25.2025 年 7 月 30 日カムチャ ツカ半島地震				
	13:30 ~ 15:15 スター発表の	S25.2025 年 7 月 30 日カムチャ ツカ半島地震	S12. 岩石実験・岩石力学・地殻 応力 S19. 地震一般・その他	S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動					

A 会場(5 階 S08. 地震発生	一口(一) 口頭 光衣 国際会議室 501)午前 の物理 間 12分・質疑応答 3分)	B 会場(4 階会議室 409 + 410)午前 S17. 津波 通常講演(講演時間 12 分·質疑応答 3 分)	C 会場 (4 階会議室 411 + 412) 午前 S06. 地設構造 通常講演 (講演時間 12 分·質疑応答 3 分)	D 会場 (4 階会議室 413 + 414) 午前 S22. 情報科学との融合による地震研究の加速 招待講演(講演時間 25 分・質疑応答 5 分) 通常講演(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)
座長 :AOCHI Hid 9:00 S08-01		* 髙川 智博 ¹ 、千田 優 ² 、藤木 峻 ¹ 、川口 浩二 ¹ (¹ 港湾		座長: 縣 亮一郎、徳田 智磯 9:00 S22-01 変分オートエンコーダによる共通 S 波成分の抽出 * 平中 幸雄 ¹ (¹ 平中技術研究所)
9:15 S08-02	Fracture energy of earthquakes scales linearly with slip across ten orders of magnitude *	/ 9:15 S17-02 津波痕跡高・地殻変動データと非線形ジョイントイン パージョン法による 2024 年能登半島地震の断層モデル * 上谷 政人 ¹ 、馬場 俊孝 ² (¹ 東京大学地震研究所、 ² 徳 島大学)	9:15 S06-02 宮城県大崎平野下に見る日本海拡大東端部の地殻改変構造 - 2019 年中部東北口本弧横断地震深重の総合的解釈 - * 岩崎 貴哉', 佐藤 比呂志'、蔵下 英司', 石毛 宏和', 清水 英彦'、石山 達也'、飯高 隆 3、篠原 雅尚'、川崎 憤治'、阿郎 進'、平田 直'(「地震予知総合研究振興会、 2 静岡大学防災総合センター、。東京大学地震研究振興会、 4 (株) 地球科学総合研究所、5 (株) 石油資源開発 技術本部)	稠密地震観測網データへの応用 * 徳田 智磯 ¹² 、関根 秀太郎 ³ 、阿部 信太郎 ³ 、平田 直 ¹ 、 長尾 大道 ¹² (1東京大学地震研究所、 ² 東京大学大学院 情報理工学系研究科、 ³ 公益財団法人地震予知総合研究 振興会)
9:30 S08-03	Deep learning-based forecast of final moment magnitude in dynamic earthquake sequence simulation * 乘杉 玲壽 ¹、金子 善宏 ¹、Rouet-Leduc Bertrand² (¹京都大学 理学研究科、²京都大学 防災研究所)	出		検測モデルの開発 $*$ 直井 誠 1 、溜渕 功史 2 、下條 賢梧 3 (1 北海道大学、 2 気象庁、 3 気象研究所)
9:45 S08-04	微動・繰り返し地震の近接発生を説明する摩擦不均質モデルの検討 * 渡邊 悠樹 '、三井 雄太 ² ('京都大学理学研究科、 ² 静岡大学)	 9:45 S17-04 Neural Operator による津波シミュレーションの代理 モデル * 染矢 真好 ^{1,2,3}、古村 孝志 ¹ (¹ 東京大学 地震研究所、 ² 日本学術振興会 特別研究員 (DC1)、³ 海洋研究開発機 構) 	9:45 S06-04 プレート折れ曲りに伴う構造変質 - 日本海溝アウターラ イズ海域における稠密 OBS 探査の波形インバージョン 解析 - * 藤江 剛 ¹、三浦 誠一 ¹、海宝 由佳 ¹、三浦 亮 ¹、朴 進午 ²、 中村 恭之 ¹(¹ 海洋研究開発機構、² 東京大学・大気海洋 研究所)	9:45 S22-04 Stochastic determination of arrival time and initial polarity of seismic waveform * 庄 建倉 ¹、 裴 瑋来 ³、 周 仕勇 ²(¹ 統計数理研究所、 ² 北京大学、³ 中国石化石油勘探開発研究院)
10:00 S08-05	DAS 記録にみる小 - 中規模地震の多様な地震波動場とその震源過程 * 船曳 祐輝 ^{1、} 宮澤 理稔 ² 、荒木 英一郎 ³ 、田中 愛幸 ⁴ (¹ 京都大学大学院理学研究科、 ² 京都大学防災研究所、 ³ 海洋研究開発機構、 ⁴ 東京大学大学院理学研究科)			大震度の予測 * 澤崎 郁 ¹ 、久保 久彦 ¹ (¹ 防災科学技術研究所)
10:15 S08-06	Design for numerical simulation of induced seismicity using multi-scale heterogeneity model *Hideo AOCHI ^{1,2} , Julie Maury ¹ (¹ BRGM, ² Laboratoire de Géologie, Ecole Normale Supérieure, CNRS UMR 8538, PSL Research University)	空 究院附属 地震火山研究観測センター、 ² 気象庁気象研	10:15 S06-06 Full Waveform Inversion of Extra-long Offset Seismic Data for Imaging 2024 Noto Earthquake (M7.6) Rupture Zone	ザード予測手法の比較 * 久保 久彦 ¹ 、澤崎 郁 ¹ 、宮本 崇 ² 、汐見 勝彦 ¹ 、上田 拓 ¹ 、山谷 里奈 ³ (' 防災科学技術研究所、 ² 東京科学大学、 ³ 東京大学地震研究所)
10:30	休憩	10:30 休憩	10:30 休憩	10:30 休憩
	How Short Are Dominant Seismic Wavelengths in Reality? *上西 幸司¹(¹東京大学)	座長: 対馬 弘晃 10:45 S17-07 DONET 海底水圧計記録を用いた未知の非地震性津波の検出 * 工藤 蒼生 ¹ 、綿田 辰吾 ² 、三反畑 修 ² (¹ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 東京大学地震研究所)	* 鶴 哲郎 12、中東 和夫 1 (1東京海洋大学、2東京大学)	座長: 加納 将行、寒河江 皓大 10:45 「S22-07" シミュレーションベース機械学習とその防災科学への応用 * 上田 修功 '('理化学研究所革新知能統合研究センター)
	Stress Buildup in Kyushu, Japan *Angela Meneses-Gutierrez¹, Tatsuhiko Saito¹ (¹National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)		ピン海プレート形状 * 松原 誠 ¹ 、酒井 慎一 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 東京 大学地震研究所)	11:15 C22.09 Dhysics Informed 草成開数屋間・空さル、刷、歪み流
11.13 300-09	病能がスロース・ケックとでれてはドラのお記録との関係・ その3 *安原一展'、佐藤 利典 ² ('干葉大学大学院融合理工学 府、 ² 干葉大学大学院理学研究院)	ブルカップル地震と津波	動と地震波速度構造 * 平田 一聖 '、山下 裕亮 '、松島 健 '、仲谷 幸浩 '、平野 舟一郎 '、八木原 寛 '、中東 和夫 '、江本 賢太郎 '、 松本 聪 '、馬場 慧 '、大柳 修慧 '、伊藤 喜宏 '、山本 揚 二朗 '、胡 朝妤 '、山田 知朗 '、篠原 雅尚 ' ('九州大学、' 宮崎公立大学、' 鬼児島大学、' 東京海洋大学、' 京都	度推定 * 岡崎 智久 ¹ (¹ 理化学研究所 革新知能統合研究セン ダー)
11:30 S08-10	関東地震発生と房総スロースリップイベントへの影響の 数値シミュレーション * 松澤 孝紀 ¹ 、 芝崎 文一郎 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 建築研究所)		11:30 S06-10 日向灘沈み込み帯前弧域の3次元地震波速度構造:九州パラオ海嶺の沈み込みと泥火山分布 * 新井隆太「、白石 和也「、中村 恭之」、藤江 剛「、三 浦 誠一」、仲西 理子「、高橋 努「、小平 秀一」、望月 公 廣 ² (「国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)	ジアントモグラフィ * 縣 亮一郎 ^¹ 、白石 和也 ^¹ 、藤江 剛 ^¹ 、Bassett Dan ² (^¹ 海洋研究開発機構、 ^² Earth Sciences New Zealand)
	2025 年ドレーク海峡地震におけるプレート問およびプレート内の断層破壊 *山口諒「、八木勇治「、奥脇 売「、井上 尚滉「(「筑波大学)		11:45 SO6-11 海陸地震観測に基づく阿多カルデラ域周辺の3次元地震 波速度構造の推定 * 仲谷 幸浩 '、宮町 宏樹 '、小林 励司 '、八木原 寛 ' ('鹿児島大学大学院理工学研究科)	Diffusion Models: A Real-World Application of DDPM to Geophysical Signal Enhancement *Jun Su¹, Ryoichiro Agata¹, Gou Fujie¹, Yasuyuki Nakamura¹ (¹JAMSTEC)
	アメリカ西部で発生した上部マントル地震と3次元速度 構造 * 綱嶋 椋 ¹ 、趙 大鵬 ¹ 、豊国 源知 ¹ 、Hutchings Sean ² 、 Koper Keith ² (¹ 東北大学大学院理学研究科地球物理学 専攻地震・噴火予知研究観測センター、 ² ユタ大学) 2場 (日会場にも配信))午後			12:00 S22-11 データ駆動型ノンパラメトリック確率微分方程式モデリングによる低周波微動の特徴抽出 * 楠井 俊朗 ¹、長尾 大道 ¹、伊藤 伸一 ¹、加藤 慎也 ¹、徳田 智磯 ¹(¹ 東京大学)
	演時間 15 分·質疑応答 5 分)			
座長: 村井 芳夫、 13:30 13:33	人			
	・不均質構造内における短周期地震波の伝播と散乱に関す る研究			
14:08 S20-02#	* 佐藤 春夫 [†] (' 東北大学) [†] 震源物理および逆解析における数理的基礎研究 * 佐藤 大祐 [†] (' 海洋研究開発機構)			
14:28 S20-03#	沈み込み帯における断層すべり現象の多様性の解明とその国際展開* 伊東 優治¹(¹東京大学地震研究所)			
14:48 S20-04#	・地震波・津波の波形記録解析および数値計算に基づく海域火山現象の解明 * 三反畑 修 ¹ (1東京大学地震研究所)			
15:08 A 会場(5 階	^{休憩} 国際会議室 501)午後	B 会場(4 階会議室 409 + 410)午前		D 会場(4 階会議室 413 + 414)午前
	間 12 分·質疑応答 3 分)	S04. テクトニクス 通常講演(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)		S22. 情報科学との融合による地震研究の加速 通常講演(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長:津田健一、 15:30 S08-13	吉田 圭佑 超巨大地震はなぜ超低角断層で起きるのか? * 井出 哲 '、古市 幹人 '、佐藤 大佑 ' (「東京大学・大学 院理学系研究科・「海洋研究開発機構 「対加価値情報創 生部門、、3海洋研究開発機構 海域地震火山部門)			座長: 加藤 慎也 15:30 S22-12 地震予測における異常現象の確率評価と実用化への課題 * 尾形 良彦 [!] (¹ 統計数理研究所)
15:45 S08-14	世界の繰り返し地震活動:プレート境界すべりと地震準備過程の多様性への示唆*内田 直希1、ローランド バーグマン2(1東京大学、	15:45 S04-02 マルチスケールグローバルトモグラフィーによる日本海 とその周辺地域下のマントル構造 (2) * 佐藤 匠 ¹、豊国 源知 ¹、趙 大鵬 ¹ (¹ 東北大学 大学院		15:45 S22-13 Gaussian process modeling of time-dependent background seismicity * 牛源源 ¹、庄建倉 ¹、Petrillo Giuseppe²(¹統計数理
16:00 S08-15	² カリフォルニア大学パークレー校) 2021 年宮城沖 Mw7.0 地震:Mw3.7 繰り返し地震からの破壊拡大	理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター) 16:00 S04-03 日本沈み込み帯のスラブ下構造不均質とマントルダイナミクス		研究所、 ² 南洋理工大学, シンガポール地球観測所(EOS)) 16:00 S22-14 ベイズ感度解析を用いた緊急地震速報における観測点選択
	* 吉田 圭佑 ¹ 、Huang Yihe ² 、井出 哲 ³ (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² ミシガン大学、 ³ 東京大学 理学系研究科)	* 鈴木 基矢 1、趙 大鵬 1、豊国 源知 1 (1 東北大学理学研		* 午野 惠佑 1 、山田 真澄 2 、Wu Stephen 1 、溜渕 功史 3 、 伊庭 幸人 1 (1 統計数理研究所、 2 京都大学防災研究所地 震防災研究部門、 3 気象庁)
16:15 S08-16		Rheological modeling for assessing the effect of seamount subduction *Erika Jessenia Moreno¹, Vlad Constantin Manea², Shoichi Yoshioka³, Marina Manea², Nobuaki Suenaga³, Masataka Kinoshita¹ (¹Earthquake Research Institute, ²Computational Geodynamics Laboratory, Instituto de Geociencias, Universidad Nacional Autónoma de México, ³Research Center for Urban Safety and Security, Kobe University)		16:15 S22-15 地震と活断層の知識グラフ構築と相互連用性の検証*上松 大輝 ^{1,2} 、内田 直希 ³ 、鶴岡 弘 ³ 、武田 英明 ^{2,7} (「総合研究大学院大学、 ² 国立情報学研究所、 ³ 東京大学地震研究所)
16:30 S08-17	動力学モデルを用いた津波地震の断層破壊に与える付加体の影響の検討* 津田 健一 ¹ 、芝崎 文一郎 ² 、Jean-Pual Ampuero ³ (¹ 清水建設㈱技術研究所 安全安心技術センター、 ² 建築研究所、 ³ コード・ダジール大)] 16:30 S04-05 九州地域浅部におけるフィリピン海スラブの屈曲に対するホットプリュームとレオロジーの影響 香西 夏葵 ¹ 、末永 伸明 ² 、* 吉岡 祥一 ^{2,1} 、マネア ヴラッ		
#は招待講演		* 小松原 琢 1 (1 琵琶湖博物館)	<u> </u>	

ポスター発表 10月20日(月) 17:15~19:00 ポスター会場 (5階会議室 502 + 503) S02, S04, S06, S08, S11, S17, S18, S19, S22, S23

	,o ₊ , 300, 300, 311, 311, 310, 313, 3	,			
S02. 地震 計 P02-01	†測・処理システム セントロイド水平位置探索手法についての検討	P08-07	震源データから推定された 2024 年能登半島地震の海域部の非平面断層群 * 堀川 晴央 ¹、内出 崇彦 ¹ (¹ 産業技術総合研究所)	S22. 情報科 P22-01	学との融合による地震研究の加速 震源クラスタリングにおける点群法線ベクトル推定手法の改良
P02-02	* 木村 尚紀 ¹ 、木村 武志 ¹ 、浅野 陽一 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 三陸沖光ケーブルでの DAS 並行観測で見られた特徴 * 田中 昌之 ¹ 、篠原 雅尚 ² 、田中 伸一 ² (¹ 気象庁気象研究所地震津波研究部、 ² 東	P08-08	地震ステレオメトリーを用いた 2024 年能登半島地震の破壊伝播速度推定 * 高橋 和暉 1 、三宅 弘恵 2,1 、Satriano Claudio 3 (1 東京大学地震研究所、 2 東京大学大学院情報学環、 3 Institut de Physique du Globe de Paris)		* 佐脇 泰典 1,2 、寒河江 皓大 2 、Mpuang Admore 2 、堀川 晴央 2 、佐藤 圭浩 3,4 、椎名 高裕 2 、内出 崇彦 2 (1 立命館大学理工学部、 2 産業技術総合研究所地質調査総合センター、 3 東京都市大学、 4 産業技術総合研究所人工知能研究センター)
P02-03	京大学地震研究所) Sensor azimuths of the offshore segment of N-net stations based on	P08-09	2024 年能登半島地震の大すべり域端部で発生した中規模地震 (Mw 5.3) の破壊 の特徴	P22-02	断層すべり分布推定における小断層配置の最適化 *富田 史章 1 (1東北大学災害科学国際研究所)
1-02-03	teleseismic records *Yadab Prasad DHAKAL ¹ , Takashi Kunugi ¹ , Ryota Takagi ² , Tetsuya Takeda ¹ ,	P08-10	*塚本 征良 ¹ 、山田 卓司 ² (¹ 茨城大学大学院、 ² 茨城大学) 令和 6 年能登半島地震 (M7.6) の余震の静的応力降下量と本震の地震時すべり量	P22-03	物体検出アルゴリズム YOLO を利用した T 相の自動検出 * 河上 洋輝 ¹、須田 直樹 ¹(' 広島大学)
P02-04	Shin Aoi ¹ , Katsuhiko Shiomi ¹ (¹ NIED, ² Tohoku Univ.) 稠密観測網のアレイ解析による常時震央モニタリングシステムの開発		の関係 * 佐藤 光樹 ¹、平松 良浩 ¹、岡田 知己 ²、吉田 圭佑 ²、髙木 涼太 ²、酒井 慎一 3 、蔵 下 英司 3 、江本 賢太郎 4 、松本 聡 4 、山中 佳子 5 、勝侯 啓 6 、宮澤 理稔 7 、前田 拓入 8 、	P22-04	Deep-learning-based Framework for Fault-specific Seismic Waveform Generation:From Small to Large Events
P02-05	* 小木曽 仁 ' (' 気象研究所) 光ファイパーケーブルと地面とのカップリングの影響の実験的評価 * 江本 賢太郎 '、米盛 航平 '、馬場 慧 '、Bin Abdul Rahman Syed Idros '、川嶋 祥之助 '、馬場 朱莉 ' (' 九州大学)		石瀬 素子 9 、今西 和俊 10 、椎名 高裕 10 (1 金沢大学、 2 東北大学、 3 東京大学、 4 九 州大学、 5 名古屋大学、 6 北海道大学、 7 京都大学、 8 弘前大学、 9 山形大学、 10 産業 技術総合研究所)		*Sheng Chenfeng ^{1,2} , Hiroe Miyaka ^{1,3} (¹Earthquake Research Institute, The University of Tokyo, ²Department of Earth and Planetary Science, The University of Tokyo, ³Interfaculty Initiative in Information Studies, The University of Tokyo)
P02-06	WIN システムを用いたリアルタイム波形表示システムの開発 * 鶴岡 弘 ' (¹ 東京大学地震研究所)	P08-11	Random Forest による南海トラフ沿いの連続地震波形記録に基づくスロースリップイベントの検出 * 大竹 和機 1 、加藤 愛太郎 1 、岡田 悠太郎 2 、西村 卓也 3 (1 東京大学地震研究所、	P22-05	深層学習による InSAR・GNSS データからの断層すべり起因の微小変位場の検出: 2019 年 Mw 6.2 日向灘地震への適用 * 岡田 悠太郎 ¹ 、福島 洋 ¹ (¹ 東北大学 災害科学国際研究所)
P02-07	次世代 WIN システムの開発(第2期)に向けて * 中川 茂樹 '(' 東京大学地震研究所)	P08-12	² 東北大学災害科学国際研究所上廣防災学寄附研究部門、 ³ 京都大学防災研究所) 豊後水道及び東海地域における長期的スロースリップとスラブ内間隙流体圧場の関係 ** 村岡 宏売 ¹ 、寺川 寿子 ¹ (¹ 名古屋大学)	P22-06	深層学習による南海トラフ沈み込み帯のテクトニック微動震源推定:単一観測点から得られた予測結果の統合 * 杉井 天音 ¹ 、平松 良浩 ¹ ('金沢大学)
S04. テクト P04-01	九州下に沈み込んだ九州・パラオ海嶺	P08-13	日向灘域における浅部超低周波地震活動の潮汐応答性 * 栃谷 修吾 ¹、須田 直樹 ¹(¹ 広島大学)	P22-07	独立ベクトル分析による 5 波後続波の自動抽出 * 雨澤 勇太 1、中村 友彦 2、深出 莧 2、椎名 高裕 1、内出 崇彦 1(1 産業技術総合研 穷所 地質調査総合 センター、2 産業技術総合研究所 人工知能研究センター)
P04-02	* 志藤 あずさ ' (' 岡山理科大学) 中部日本下におけるフィリピン海プレートの沈み込みがもたらす温度変化 * 木村 朝水 '、末永 伸明 ² 、吉岡 祥一 ^{2,1} 、松本 拓己 ³ (' 神戸大学大学院理学研究	P08-14	房総半島スロースリップイベントと同時期に発生する地震活動の時空間分布とすべ り分布との比較 * 橋本 雅弘 ¹ 、中島 淳一 ¹ 、雨澤 勇太 ² (¹ 東京科学大学、 ² 産業技術総合研究所)	P22-08	Fourier Neural Operator を用いた波形に基づく深部低周波地震の震源決定*加藤 慎也¹、Ross Zachary²、長尾 大道¹(¹東京大学地震研究所、²California
P04-03	科惑星学専攻、 ² 神戸大学都市安全研究センター、 ³ 防災科学技術研究所) 超高密度 GNSS 観測網による日本列島の高分解能ひずみ速度場	P08-15	海底圧力計と陸上 GNSS データを用いた 2024 年房総スロースリップのすべり分布 の推定	P22-09	Institute of Technology) 首都圏の地震観測網における PhaseNetWC の挙動調査:MeSO-net を活用した 地震波トモグラフィーに向けて
	* 大舘 未来 1 、太田 雄策 1 、大園 真子 2 、高橋 浩晃 2 (1 東北大学大学院理学研究科、 2 北海道大学大学院理学研究院)		* \pm 定 志 \pm 1、 佐 藤 利 典 \pm 、	P22-10	* 大石 一路 ¹ 、雨澤 勇太 ² 、中島 淳一 ¹ (¹ 東京科学大学、 ² 産業技術総合研究所) 日本でのリアルタイム余震予測における GR 則の b 値の推定手法の比較 * 上田 拓 ¹ 、久保 久彦 ¹ 、沙見 勝彦 ¹ (¹ 国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
S06. 地殻構 P06-01	第造 東北日本プレート間地震のエンベロープモデリングにおける構造モデルの再検討	P08-16	2011 年東北沖地震前後に変化した繰り返し地震挙動の数値シミュレーション的検討	P22-11	Mapping deep fault geometries by clustering of deep learning enhanced
P06-01	米ルロペングート同心展のエン・ローノモナリングにおける情温モデルの存代的 ・ 浅野 隔 ー (P08-17	* 渡邊 悠樹 1、金子 善宏 1、吉田 圭佑 2(1京都大学理学研究科、2東北大学理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター) 動力学的震源モデルから推定される中央構造線断層帯(四国陸域)の最新イベント		hypocenter distributions and their normal vectors in Hokkaido *Admore MPUANG¹, Takahiro SHIINA¹, Yasunori SAWAKI¹, Ayaka TAGAMI¹Takahiko UCHIDE¹ (¹Geological Survey of Japan, AIST)
P06-02	Distribution of the disturbed incoming sediments of the Japan Trench and its potential relation to the outer rise faulting * 孫 岳 ¹、藤 江 剛 ²、Hamzeh Mohammadigheymasi¹、Ehsan Jamali	F08-17	動力子の設成 () がから社社 () (国研)産業技術総合研究所) * 加瀬 祐子 '、近藤 久雄 ' (' (国研)産業技術総合研究所)	P22-12	Leveraging a BERT-based deep learning model for earthquake detection in seafloor Distributed Acoustic Sensing data *GERARDO MANUEL MENDO¹, Hiromichi Nagao¹, Shinya Katoh¹,
	Hondori ³ 、高麗 琉聖 ¹ 、朴 進午 ¹ (¹ 東京大学 大気海洋研究所、 ² 海洋研究開発機 構、 ³ 株式会社ジオサイエンス)	P08-18	警固断層周辺の応力場のモデル化の試み * 砂川 尋海 '、永山 勇志 '、江本 賢太郎 2 、松本 聡 2 († 九州大学、 2 九州大学大学 院理学研究院付属地震火山観測研究センター)		Masanao Shinohara ² ('Research Center for Computational Earth Sciences, Earthquake Research Institute, The University of Tokyo, ² Research Center for Geophysical Observation and Instrumentation, Earthquake Research
P06-03	房総沖三重会合点近傍におけるプレート境界断層先端部の構造的特徴 * 山下 幹也 1 、仲西 理子 2 、武田 哲也 3 、木村 尚紀 3 、三浦 誠一 2 、笠原 敬司 3 (「国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究	P08-19	動力学モデルを用いた地表地震断層が破壊した地震の地表変位分布の再現の試み *津田 健一、宮腰 淳一、岩田 直樹、種 翔太郎 2(1清水建設株技術研究所 安全のは様々との一、ナルマは近に、オータンが、サータンが、	P22-13	Institute, The University of Tokyo) 深層学習を用いた南海沈み込み帯のテクトニック微動の震央決定(2018-2025)
Pag 04	部門 資源テクトニクス研究グループ、 ² 国立研究開発法人 海洋研究開発機構、 3 国立研究開発法人 防災科学技術研究所)	P08-20	全安心技術センター、 ² 中電技術コンサルタント) 4 階層の円形パッチモデルを用いた長期的な準動的地震発生サイクルシミュレーション	P22-14	* 片村 光希 ¹ 、杉井 天音 ¹ 、平松 良浩 ¹ (¹ 金沢大学) 深層学習を用いた地震波形デノイザーにおける損失関数の工夫
P06-04	丹沢山地東部から三浦半島地域におけるパイプレータ震源を用いた地殻構造探査 * 蔵下 英司 '、石山 達也 '、酒井 慎一 2 ('東京大学地震研究所、 2 東京大学大学院情報学環)		2 本 中田 今子 1 、堀 高峰 2 、青地 秀雄 34 、井出 哲 1 (1 東京大学大学院理学系研究科、 2 海洋研究開発機構海域地震火山部門、 3 フランス地質調査所、 4 ENS-CNRS PSL, France)	P22-15	* 重村 篤希 ¹ (1東京海洋大学) 機械学習のための臨時地震観測データセットの作成 * 内出 崇彦 ¹ 、松下 レイケン ¹ 、椎名 高裕 ¹ 、堀川 晴央 ¹ (1 国立研究開発法人 産業
P06-05	中部日本御嶽山における地震雑微動トモグラフィの適用 * 浅井 岬 '、前田 裕太 '、渡辺 俊樹 [†] (' 名古屋大学大学院環境学研究科)	P08-21	マルチスケール円形パッチモデルを用いた準動的地震発生サイクルシミュレーショ ン	P22-16	技術総合研究所) 視線情報を活用した断層面推定における視覚的評価基準構築に向けた検討
P06-06	Estimation of long-term crustal seismic velocity variations in the Nagano region, Japan, using seismic interferometry *Louisa Bagot', Bogdan Enescu', Florent Brenguier', Nicolas Paris',		* 中田 令子 ¹ 、堀 高峰 ² 、青地 秀雄 ³⁴ 、井出 哲 ¹ (¹ 東京大学大学院理学系研究科、 ² 海洋研究開発機構海域地震火山部門、 ³ フランス地質調査所、 ⁴ ENS-CNRS PSL, France)		* 佐藤 圭浩 、深山 覚 ² 、内出 崇彦 ² (「東京都市大学、 ² 国立研究開発法人産業技術総合研究所)
	Quentin Higueret ² , Šhiro Ohmi ⁴ , Masatoshi Miyazawa ⁴ , Tetsuya Takeda ⁵ (¹ Department of Geophysics, Graduate School of Science, Kyoto University, Kyoto, Japan, ² Institut des Sciences de la Terre, Université Grenoble Alpes, Grenoble, France, ² Institut des Géosciences de l'Environnement, Université	P08-22	Multi-scale rate-and-state friction law and coarse graining of hierarchical fault heterogeneity preserving source parameter scaling * 乘杉 拾壽 '、野田 博之 ² (「京都大学 理学研究科、 ² 京都大学 防災研究所)	P22-17	都市域における地震ノイズと人間活動の関係性の理解:機械学習を用いたノイズ予測モデルの構築 * 林田 拓己¹('建築研究所 国際地震工学センター)
	Grenoble Alpes, Grenoble, France, *Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Kyoto, Japan, *National Institute for Earth Science and			S23. 群発地	震の発生メカニズムの解明に向けて
P06-07	Disaster Resilience, Tsukuba, Japan) 飛騨山脈及びその周辺における三次元 S 波滅衰構造と周波数依存性	S11. 地震に P11-01	Incorporating Non-Seismicity Precursors into Earthquake Probabilistic	P23-01	山口県北部における地殻深部の群発地震活動 * 河野 葉子 ¹、加藤 愛太郎 ¹ (¹ 東京大学地震研究所)
	* 岡田 翔矢 1、勝間田 明男 1、堀田 耕平 1 (1 富山大学)		Forecasting Model *Yiqun Zhang ^{1,2} , Jiancang Zhuang ¹ , Kaiguang Zhu ² (¹ The Institute of	P23-02	2025 年山口県北部の群発地震の臨時観測と地殻構造
P06-08	能登半島における地殻内反射面の探索		Statistical Mathematics, ² Jilin University, China)		* 水尻 賢吾 1、山下 桃佳 1、麻生 尚文 1 (1 東京理科大学)
P06-08	能登半島における地殻内反射面の探索 * 椎名 高裕 1 、雨澤 勇太 1 、中村 友彦 1 、深山 覚 1 、堀川 晴央 1 、佐脇 泰典 2 、内出 崇彦 1 (1 産業技術総合研究所、 2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake	S17. 津波	Statistical Mathematics, ² Jilin University, China)	P23-03	* 水尻 賢吾 ¹ 、山下 桃佳 ¹ 、麻生 尚文 ¹ (¹ 東京理科大学) 山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹ 、雨澤 勇太 ¹ 、宮澤 理稔 ² 、西川 友章 ² 、西村 卓也 ² 、長岡 愛理 ² 、宮町 凜太郎 ² 、大見 士朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所)
	* 椎名 高裕 '、雨澤 勇太 '、中村 友彦 '、深山 覚 '、堀川 晴央 '、佐脇 泰典 ²、內出 崇彦 '(' 產業技術総合研究所、² 立命館大学)	P17-01	Statistical Mathematics, ² Jilin University, China) 海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構)	P23-03	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 士朗 ²(「産業技術総合研究所、²京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、
	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹(¹Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布		Statistical Mathematics, ² Jilin University, China) 海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出	P23-04	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹ 、雨澤 勇太 ¹ 、宮澤 理稔 ² 、西川 友章 ² 、西村 卓也 ² 、長岡 愛理 ² 、宮町 凜太郎 ² 、大見 士朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動
P06-09	* 椎名 高裕 ¹ 、 雨澤 勇太 ¹ 、 中村 友彦 ¹ 、 深川 覚 ¹ 、 堀川 晴央 ¹ 、 佐脇 泰典 ² 、 内出 崇彦 ¹ (「産業技術総合研究所、 ² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi ¹ , Ehsan Jamali Hondori ² , Yige Yang ¹ , Jin-Oh Park ¹ (¹ Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解	P17-01	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹² 、綿田 辰吾 ³ (¹ 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹ 、飯田 雅貴 ¹ 、管原 大助 ² 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、	P23-04	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定*今西 和俊¹、雨澤 勇太¹、宮澤 理稔²、西川 友章²、西村 卓也²、長岡 愛理²、宮町 凜太郎²、大見 士朗²(' 産業技術総合研究所、² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動*西村 卓也¹、宮澤 理稔¹、西川 友章¹、長岡 愛理¹、宮町 凛太郎¹、太田 雄策²、高橋 浩晃³、大園 真子³('京都大学、2 東北大学、³ 北海道大学)島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解**は下、麻生 尚文¹('東京理科大学)
P06-09	* 椎名 高裕 ¹ 、 雨澤 勇太 ¹ 、 中村 友彦 ¹ 、 深山 覚 ¹ 、 堀川 晴央 ¹ 、 佐脇 泰典 ² 、 内出 崇彦 ¹ (「産業技術総合研究所、 ² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi ¹ , Ehsan Jamali Hondori ² , Yige Yang ¹ , Jin-Oh Park ¹ (¹ Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から椎定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹ (「防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解 折: 序報 * 福島 駿 ¹² 、篠原 雅尚 ³⁴ 、青井 真 ³ 、武田 哲也 ³ 、功刀 卓 ³ 、植平 賢司 ³ 、望月 秋志 ³ 、田中 伸一 ⁴ (¹ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、	P17-01 P17-02 P17-03	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹ 、 荒木 英一郎 ¹ (「海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ^{1,2} 、綿田 辰吾 ³ (「東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹ 、飯田 雅貴 ¹ 、 管原 大助 ² 、 石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、真包 健良 ⁵ (「東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所。 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所。 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係)	P23-04 P23-05 P23-06	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 士朗 ² (1 産業技術総合研究所、² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ³ (1 京都大学、² 東北大学、3 北海道大学)島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (1 東京理科大学) 開密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (1 海洋研究 開発機構、2 東京大学地震研究所)
P06-09	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹(' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 将志 ³、田中 伸一 ⁴(' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究料地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04	海底光ファイパーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 '、荒木 英一郎' ('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー語島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹ ² 、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 '、飯田 雅貴 ¹ 、菅原 大助 ² 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ ('東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学以害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学)	P23-04 P23-05 P23-06	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凛太郎 ²、大見 士朗 ² (「産業技術総合研究所、2 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地慰変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ³ (「京都大学、2 東北大学、3 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、2 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹気象研究所 地震津波研究部)
P06-09 P06-10 P06-11	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ (¹Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹(¹ 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 狩志 ³、田中 中一 ⁴(† 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、⁴ 東京大学地震研究所)	P17-01 P17-02 P17-03	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 '、荒木 英一郎 ' (' 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹ - ² 、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 '、飯田 雅貴 '、 菅原 大助 ² 石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、 貞包 健良 ⁵ (' 東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学火害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ (' 徳島大学) 千島海清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹ 、谷岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠資 ⁴ (¹ 札幌管区気象台、 ² 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 * 北海道大学大学院理学	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 ・西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ² (「京都大学・2 東北大学・3 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ ('東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ ('海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘潔 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ ('気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 -
P06-09 P06-10 P06-11	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(' 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地般の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 捋志 ³、田中 伸一 ⁴ (' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹ ('山口大学大学院側成科学研究科、² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小木原 寬 ²、平野 舟の野 ² () 同根 秀太郎 ⁵、阿郎 信太郎 ⁵、浅野 陽一 ⁵、八木原 寬 ²、平野 舟一郎 ² () 同山学院大学、² 同山大学、3 東北大学、3 実工大学、3 東北大学、3 原介 5 に対しました。5 に対しませんました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しました。5 に対しませんました。5 に対しました。5 に対しまりました。5 に対しました。5 に対しまりまりました。5 に対しまりまりまりまりまり	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ^{1,2} 、綿田 辰吾 ³ (¹ 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹ 、飯田 雅貴 ¹ 、管原 大助 ² 石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ (「東北大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学) 十島海溝沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹ 、 谷岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠貴 ⁴ (¹ 札幌管区気象台、 ² 北海	P23-04 P23-05 P23-06	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (1 産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ² (1 京都大学、 2 東北大学、 3 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (1 東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (1 海洋研究開発機構、 2 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (1 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 -
P06-09 P06-10 P06-11	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ (¹Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹(¹ 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 押志 ³、田中 中 ⁴ (¹ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究和地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ^⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹ (¹ 山口大学大学院創成科学研究科 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、豊国 源知 ³、中村 衛 ⁴、関根 秀太郎 ⁵、阿郎 信太郎 ⁵、浅野 陽一 6、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ² (1 岡山学院大学、 2 岡山大学、 3 東北大学、 * 1 琉球大学、 5 地震予知総合研究振興会、 6 防災科学技術研究所、 7 鹿児島大学)南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 '、荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インバージョン解析 * 石島 清宏 ¹² 、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 '、飯田 雅貴 '、菅原 大助 ² 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ ('東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学学・で興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) 千島海清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹ 、合岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠貢 ⁴ ('礼幌管区気象台、 ² 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ³ (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、膝江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (「気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (1 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、浅野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所 2 鹿月島周辺で繰り返し発生する微動 * 七形 花亮 ¹、八木原 寛 ²、仲谷 幸浩 ³、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13	* 椎名 高俗 '、 雨澤 勇太 '、 中村 友彦 '、 深山 覚 '、 堀川 晴央 '、 佐脇 泰典 '、 内出 崇彦 ' ('産業技術総合研究所、'立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi', Ehsan Jamali Hondori', Yige Yang', Jin-Oh Park' ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から椎定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦 ' ('防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 '、 篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、 武田 哲也 ³、 功刀 卓 ³、 植平 賢司 ³、 望月 拐志 ³、 田中 伸一 ('北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ² 東北大学大学院理学研究和地震・噴火予知研究観測センター、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 '、 濱田 洋平 ' 、 奥田 花也 ² 、 田村 芳彦 ² 、 坂口 有人 ¹ ('山口大学大学院創成科学研究科、 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 '、 竹中 博士 ² 、 豊国 源知 ³ 、 中村 衛 ⁴ 、 関根 秀太郎 ⁵ 、 阿郎 信太郎 ⁵ 、 浅野 陽一 ⁶ 、 八木原 寛 ⁷ 、 平野 舟一郎 ⁷ (¹ 岡山学院大学、 ² 岡山大学、 ³ 東北大学、 ⁴ 琉球大学、 ⁵ 地震予知総合研究振興会、 ⁶ 防災科学技術研究所、 ⁷ 鹿児島大学)南鳥島周辺における浅部海洋地殿の構造変化 * 金子 琉 ¹ 、 中東 和夫 ¹ 、 山下 幹也 ² 、 飯島 耕一 ³ (¹ 東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 ³ 国立研究開発機構 海底資源センター)	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 '、荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹² 、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆構物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 '、飯田 雅貴 '、菅原 大助 ² 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ ('東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) 千島海清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹ 、合岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠貢 ⁴ ('札幌管区気象台、 ² 北海道大学広域複合災書研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学広域複合災書研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学広域複合災書研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷 歩 ¹ ('東北大学) 二次元非静水圧二層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地震性津波のシミュレーション	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 *今西 和俊¹、雨澤 勇太¹、宮澤 理稔²、西川 友章²、西村 卓也²、長岡 愛理²、宮町 凛太郎²、大見 士朗²(' 産業技術総合研究所、² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 *西村 卓也¹、宮澤 理稔²、西川 友章¹、長岡 愛理¹、宮町 凛太郎¹、太田 雄策²、高橋 浩晃³、大園 真子³ (' 京都大学、² 東北大学、³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 *山下 桃佳¹、麻生 尚文¹ (' 東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 *高橋 努¹、藤江 剛¹、野 徹雄¹、篠原 雅尚²、山田 知朗¹、悪原 岳¹ (' 海洋研究開発機構、² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹¹、中村 雅基¹ (' 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動・過去の群発地震活動との比較・ * 栗原 克¹、本多 売¹、小林 宰¹、安部 祐希¹、長縄 和洋¹ (' 神奈川県温泉地学研究所) 整石島付近の地震計配録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀¹、浅野 陽一¹、八木原 寛²、平野 舟一郎²、仲谷 幸浩² (' 防災科学技術研究所、² 鹿児島大学 上水原 寛²、平野 舟一郎²、中谷 幸浩² (' 防災科学技術研究所、² 鹿児島大学 里工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、³ 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(' 直業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹(' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析:序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 抒志 ³、田中 伸一 ⁴(*北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹('山口大学大学院創成科学研究科、² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、豊国 源知 ³、中村 衡 ⁴、関根 秀太郎 ⁵、阿郎 信太郎 ⁵、浅野 陽一 ⑤、八木原 寬 ²、平野 舟一郎 ²(1 岡山学院大学 ² 岡山大学、3 東北大学、4 琉球大学、5 地震予知総合研究振興会、6 防災科学技術研究所、7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉 ¹、中東 和夫 ¹、山下 幹也 ²、飯島 耕一 ³(¹ 東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹ (¹ 富山大学)	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 *利根川 貴志 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ^{1,2} 、綿田 辰吾 ³ (¹ 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹ 、飯田 雅貴 ¹ 、管原 大助 ² 石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ (¹ 東北大学院理学研究科地学等政、 ² 東北大学災害科理國際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学) * 長野 清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 任野 清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 任野 清羽 ¹ 、谷岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠貴 ⁴ (¹ 机碘管区気象台、 ² 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遺地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷 歩 ¹ (¹ 東北大学) 二次元非静水圧一層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った手地震性津波のシミュレーション * 内藤 瑛乃 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 —1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震につい	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理穆 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ ('東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ ('海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ ('気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 率 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ ('神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ²、実野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所)。 電児島大学) トカラ列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 仙下 裕亮 ¹、八木原 寛 ²、中谷 幸浩 ³、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・防災研究センター、 ² 鹿児島大学) トカラ列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 山下 裕亮 ¹、八木原 寛 ²、中谷 幸浩 ³、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・防災研究センター、 ² 鹿児島大学田工学研究科附属南西島孤地震火山観測所、 ³ 鹿児島大学理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ (¹Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹(¹ 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 狩志 ³、田中 中一 ⁴(¹ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹(¹ 山口大学大学院創成科学研究科 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、豊国 源知 ³、中村 衛 ⁴、関根 秀太郎 ⁵、阿部 信太郎 5、美野 陽一 ⑤、八木原 寬 ³、平野 舟一郎 ²(1 岡山学院大学、² 岡山大学、3 東北大学、 ⁴ 琉球大学、5 地震予知総合研究振興会、6 防災科学技術研究所、7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉¹、中東 和夫 ¹、山下 幹也 ²、飯島 耕一 ³(¹ 東京海洋大学、² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、3 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹(¹ 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優 ¹、西田 究 ²、青木 陽介 ²、武尾 実 ² (′ 気象大学校、² 東京大学地震研究所)	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志 ¹、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹²、線田 辰吾 ³ (¹ 東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹、飯田 雅貴 ¹、菅原 大助 ²、石澤 尭史 ²、高清水 康博 ³、ト部 厚志 ⁴、貞包 健良 ⁵ (* 東北大学大学院理学研究科地学専攻、² 東北大学災害科学国際研究所、3 新潟大学教育学部、4 新潟大学災害・復興科学研究所、5 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹、馬場 俊孝 ¹ (¹ 徳島大学) 干島海清沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹、各回 勇市郎 ²、中垣 遙也 ³、山中 悠貢 ⁴ (¹ 札幌管区気象台、² 北海道大学広域複合災害研究センター、3 東京大学地震研究所、4 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹、馬場 俊孝 ¹ († 徳島大学) 5-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 ・ 水谷 歩 ¹ (¹ 東北大学) 二次元非静水圧二層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地震性津波のシミュレーション * 内藤 瑛乃 ¹、馬場 俊孝 * († 徳島大学大学院)	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ³ (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (「気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較・ * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (1 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、浅野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 ² 鹿児島大学) トカラ列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 仏澤 孝紀 ¹、浅町 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・防災研究センター、 ² 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 ³ 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(¹ 産業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ (¹Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹(¹ 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 押志 ³、田中 中 ⁴ (¹ 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ^⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹ (¹ 山口大学大学院創成科学研究科 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、豊国 源知 ³、中村 衛 ⁴、関根 秀太郎 ⁵、阿部 信太郎 ⁵、浅野 陽一 6、八木原 寛 ²、平野 舟中郎 ² (¹ 岡山学院大学、² 岡山大学・3 東北大学、 * 琉球大学、 ⁵ 地震予知総合研究振興会、 6 防災科学技術研究所、 7 鹿児島大学)南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉 ¹、中東 和夫 ¹、山下 幹也 ²、飯島 耕一 ³ (¹ 東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 ³ 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹ (¹ 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹、 荒木 英一郎 ¹('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹²、線田 辰吾 ³('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹、飯田 雅貴 ¹、 曾原 大助 ²、 石澤 尭史 ²、 高清水 康博 ³、 ト部 厚志 ²、 (P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ³、大園 真子 ³ (「京都大学、 2東北大学、 3北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、漢野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所 2 鹿児島大学) トカラ列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 仏澤 孝紀 ¹、浅野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・防災研究センター、 ² 鹿児島大学里工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学里工学研究科) F・中社 モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 七村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた Mw7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭 佐 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、内出 崇彦 ¹(' 直業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 抒志 ³、田中 伸一 ⁴ (*北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹ (¹ 山口大学大学院創成科学研究科、 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 浅野 陽一 ⑤、八木原 寬 ²、平野 舟一郎 ² († 同山学院大学、 ² 同山大学、 ³ 東北大学、 ⁴ 琉球大学、 5 地震予知総合研究振興会、 6 防災科学技術研究所、 7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉 ¹、中東 和夫 ²、山下 幹也 ²、飯島 耕一 ³ († 東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹ († 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優 ¹、西田 究 ²、青木 陽介 ²、武尾 実 ² (* 気象大学校、 ² 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 誠也 1、井出 哲 ³、松原 誠 ² (* 東京大学、学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 気象庁一元化震源カタログを用いた最大振幅による減衰構造の再解析(その 2) * 関根 秀太郎 ¹ (*) 公益財団法人 地震予知総合研究振興会)	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 *利根川 貴志 '、荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 *石島 清宏 ^{1,2} 、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 '、飯田 雅貴 '、管原 大助 ⁴ 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ ('東北大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学(美書科国際研究所) ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 '、馬場 俊孝 ' ('徳島大学) * 代野 清治、いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 '、合岡 勇市郎 ² 、中垣 達也 ³ 、山中 悠貴 (' 1 桃傳管区気象台、 ² 北海道大学広域複合災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター、 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遺地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 '、馬場 俊孝 ' ('徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷 歩 ¹ ('東北大学) 二次元非静水圧一層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地震性津波のシミュレーション * 内藤 瑛乃 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 ー1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震についてー * 伊尾木 圭衣 ¹ 、山下 裕亮 ² ('産業技術総合研究所地質調査総合センター、 ² 宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センター)	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、2 東北大学、3 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、2 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (「気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長綱 和洋 ¹ (†神奈川県温泉地学研究所)悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 1、洪野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所)。産児島大学) トカラ列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 山下 裕亮 ¹、八木原 寛 ²、中谷 幸浩 ³、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所) 建・直児島大学 1・万列島・悪石島周辺で繰り返し発生する微動 * 本才 武志 ¹、三郎 景之 1 († 防災科学技術研究所) 中・中 千 一 メントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 景之 1 († 防災科学技術研究所) か泉の野島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 循 ¹ 2 (1 琉球大学理学部物質地球科学科、2 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 1、平野 史朗 ² (1 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、2 弘前大学 理工学研究科) Repeating earthquake swarms following bursts of shallow tectonic tremorear the Janan Trench Off Eukushima
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17	* 椎名 高裕 '、 雨澤 勇太 '、 中村 友彦 '、 深山 覚 '、 堀川 晴央 '、 佐脇 泰典 '、 內出 崇彦 ' (「産業技術総合研究所、 2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーバ関数から推定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹、 篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、 武田 哲也 ³、 功刀 卓 ³、 植平 賢司 ³、 望月 拐志³、田中 伸一 ² (' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ³ 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 '、 濱田 洋平 ²、 奥田 花也 ²、 田村 芳彦 ²、 坂口 有人 ¹ (' 山口大学大学院創成科学研究科、 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、 竹中 博士 ²、 豊国 源知 ³、 中村 衛 ⁴、 関根 秀太郎 ⁵、 阿郎 信太郎 ⁵、 浅野 陽一 6、 八木原 寛 ²、 平野 舟一郎 ² (1 岡山学院大学、 2 岡山大学、 3 東北大学、 4 琉球大学、 5 地震予知総合研究振興会。 6 防災科学技術研究所、 7 鹿児島大学)南鳥島周辺に付る浅部海上地股の構造変化 * 金子 琉 ¹、 中東 和夫 ¹、 山下 幹也 ²、 飯島 耕一 ³ (1 東京海洋大学、 2 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地般構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹ (1 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優 1、西田 究 ²、青木 陽介 ²、武尾 実 ² (' 気象大学校、 2 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 誠也 ' , 井出 哲 ¹、 松原 誠² (1 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 2 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 気象庁一元化震源カタログを用いた最大振幅による減衰構造の再解析 (その 2) * 関根 秀太郎 ¹ (' 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) Spatial variation of crustal anisotropy around active volcanoes in Japan derived from shear wave splitting analysis	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志'、荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹ / ₂ 、線田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹ 、飯田 雅貴 ¹ 、管原 大助 ² 石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ⁵ ('東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ² 東北大学災害科学国際研究所、 ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保)線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹ 、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) ・ 「一・「徳島大学、「一・「徳島大学」・「徳島大学、「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「徳島大学」・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・「一・	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 凜太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ³ (「京都大学、 2東北大学、 3北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、漢野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所 2 鹿児島大学 1 上、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ² (¹ 宮崎公立大学 地域連携・防災研究化シター、 ² 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 ³ 鹿児島大学理工学研究科) F・中社 モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた Mw7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (「東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18	* 椎名 高裕 '、 雨澤 勇太 '、 中村 友彦 '、 深山 覚 '、 堀川 晴央 '、 佐脇 泰典 '、 内出 崇彦 ' (「産業技術総合研究所、 ² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殿の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解 折: 序報 * 福島 駿 ¹、 篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、 武田 哲也 ³、 功刀 卓 ³、 植平 賢司 ³、 望月 የ声志 ³、 田中 伸一 * (' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ³ 東北大学大学院理学研究所地震・噴火予知研究観測センター、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、 濱田 洋平 ²、 奥田 花也 ²、 田村 芳彦 ²、 坂口 有人 ¹ (' 山口大学大学院創成科学研究科、 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における弾御動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、 竹中 博士 ²、 豊国 源知 ³、 中村 衛 ⁴、 関根 秀太郎 ⁵、 阿郎 信太郎 ⁵、 浅野 陽一 6、 八木原 寛 ²、 平野 舟一郎 ² (' 岡山学院大学、 ² 岡山大学、 ³ 東北大学、 ⁴ 琉球大学、 ⁵ 地震予知総合研究振興会、 ⁶ 防災科学技術研究所、 ⁷ 鹿児島大学)南鳥島周辺に付る浅部海洋地股の構造変化 * 金子 琉 ¹、 中東 和夫 ¹、 山下 幹也 ²、 飯島 耕一 ³ (¹ 東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地般構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹ (' 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優 ¹、西田 究 ²、 青木 陽介 ²、 武尾 実 ² (' 気象大学校、 ² 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 誠也 ¹、 井出 哲 ¹、 松原 誠² (˚ 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 誠也 1、 井出 哲 ¹、 松原 誠² (˚ 東京大学大学理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) の第6年 元本の第7年 大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災利費を指揮の発売。 「 「 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) * 矢野 誠也 1、 井田 哲 1、 松田 哲 2、 東京大学や 2 国立研究開発 1、 井田 哲 1、 松田 西 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹、 荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ¹²、綿田 辰吾 ³ († 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹、飯田 雅貴 ¹、 菅原 大助 ²、 石澤 尭史 ²、 高清水 康博 ³、 ト部 厚志 ⁴、 貞包 健良 ⁵ († 東北大学大学院理学研究科地学専攻、² 東北大学災害科学国際研究所、³ 新潟大学教育学部、⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、³ 佐渡市文化スポーツ課佐渡メイペーク係) 線形津波インバージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹、 馬場 俊孝 ¹ († 徳島大学) 千島海溝沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * * 保野 未羽 ¹、 谷岡 勇市郎 ²、 中垣 達也 ³、 山中 悠貢 ◆ († 札幌管区気象台、² 北海道大学広域複合災害研究センター、³ 東京大学地震研究所、⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本治岸記録を用いた遺地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹、 馬場 俊孝 ¹ († 徳島大学) "大元非静水圧一層流モデルによる 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷 歩 ¹ († 東北大学) 二次元非静水圧一層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地震性津波のシミュレーション * ヤ内藤 境乃 ¹、 馬場 俊孝 ¹ († 徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 ー1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震についてー * 伊尾木 圭衣 ¹、 山下 裕亮 ² († 産業技術総合研究所地質調査総合センター、² 宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センター) 日本海沿岸の確率論的な津波ハザード評価に向けた特性化波源断層モデル群の設定:兵庫県北方沖〜北海道北西沖 * 村田 耕一 ¹、藤原 広行 ²、中村 洋光 ²、平田 賢治 ²、土肥 裕史 ²、森川 信之 ²、松山 尚典 ¹、根本 信 ¹、張 学磊 ¹、木村 洋 († 応用地質株式会社、² 防災科学技術研究所) 育・地震学史 100 円ショップの商品で作る震源メカニズム解の教材 * 小林 励司 ¹ (* 鹿児島大学) 断層パラメタの直感的理解のためのピーチボール立体模型の開発	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18	* 椎名 高裕 ¹、雨澤 勇太 ¹、中村 友彦 ¹、深山 覚 ¹、堀川 晴央 ¹、佐脇 泰典 ²、內出 崇彦 ¹(' 宜業技術総合研究所、² 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ²Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹(' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 ¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真 ³、武田 哲也 ³、功刀 卓 ³、植平 賢司 ³、望月 狩志 ³、田中 中一 ⁴(' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、² 東北大学大学院理学研究科社農・噴火予知研究観測センター、² 防災科学技術研究所、 * 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 ¹、濱田 洋平 ²、奥田 花也 ²、田村 芳彦 ²、坂口 有人 ¹(' 山口大学大学院創成科学研究科 ² 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、豊国 源知 ³、中村 衛 ⁴、関根 秀太郎 ⁵、阿部 信太郎 * 大学 ⁵ 地震予知総合研究振興会、6 防災科学技術研究所、7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉 ¹、中東 和夫 ²、山下 幹也 ²、飯島 耕一 ³(' 東京海洋大学、² 国立研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 ¹(' 富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優 ¹、西田 究 ²、青木 陽介 ²、武尾 実 ²(' 気象大学校、² 東京大学地震研究所)地震波減衰七十条特性を考慮した低周波地震の再定義 * 午野 誠也・井田 哲 ¹、松原 誠 ²('東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、2 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 気象庁一元代震源カタログを用いた屋大振幅による減衰構造の再解析(その 2) * 関根 秀太郎 ¹(' 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) Spatial variation of crustal anisotropy around active volcanoes in Japan derived from shear wave splitting analysis * Muhammad Haikal Gunarya¹,Junichi Nakajima¹,Faiz Muttaqy²(' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' 'Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' 'Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' 'Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, ' Dep	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18.地震教 P18-01 P18-02	海底光ファイバーの DAS 配録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹、 荒木 英一郎 ¹ ('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリテー 1 諸島地震津波インパージョン解析 * 不る島 清宏 ¹ ²、 綿田 辰吾 ³ (!東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹、 飯田 雅貴 ˚ 、管原 大助 ²、石澤 尭史 ²、 高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴、 真包 健良 ² (東北大学大学院理学所究料や学専攻、² 東北大学大学高理学研究所、³ 新潟大学教育学部、新潟大学災害・復興科学研究所、⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) 干島海清治いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 《嬰野 未羽 ¹、 谷岡 勇市郎 ²、 中垣 達也 ³ 』山中 悠寶 ⁴ ('礼幌管区気像台、² 北海道大学広域複合災害研究センター、³ 東京大学地震研究所、⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本治岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷歩 ¹ (¹ 東北大学) 二次元非静水圧工層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地農性津波のシミュレーション * 内閣 様乃 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 ー1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震についてー * 伊尾木 圭衣 ¹、 山下 裕亮 ² ('産業技術総合研究所地質調査総合センター、² 宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センター) 日本海沿岸の確率論的な津波ハザード評価に向けた特性化波源断層モデル群の設定:兵庫県北方沖〜北海道北西沖 * 村田 耕一 ¹、 藤原 広行 ²、 中村 洋光 ²、 平田 賢治 ²、 土肥 裕史 ²、 森川 信之 ²、 松山 尚典 ¹、 根本 信 ¹、張 学磊 ¹、 木村 洋 ¹ (' 応用地質株式会社、² 防災科学技術研究所) 育・地震学史 100 円ショップの商品で作る震源メカニズム解の教材 * 小林 励司 ¹ († 鹿児島大学) 断層パラメタの直感的理解のためのビーチボール立体模型の開発 * 水田 尚文 ¹、 伊倉 真論 ¹、 日下部 秀太 ¹ ('東京理科大学)	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19	* 椎名 高裕 、雨澤 勇太 、中村 友彦 、深山 覚 、堀川 晴央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1(「産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, ² Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシーパ関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹('防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿¹²、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真³、武田 哲也³、功刀 卓³、植平 賢司³、望月 将志³、田中 伸一⁴('北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 ³ 防災科学技術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 、濱田 洋平²、奥田 花也²、田村 芳彦²、坂口 有人¹('山口大学大学院創成科学研究科、 ² 海洋研究開発機制)南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直¹、竹中 博士²、豊国 源知³、中村 衛⁴、関根 秀太郎⁵、阿郎 信太郎 5、浅野 陽一6、八木原 寛²、平野 升一郎²('岡山学院大学、 ² 岡山大学、 ³ 東北大学、 ⁴ 琉球大学、 ³ 地震予知総合研究振興会。「防災科学技術研究所、 ⁷ 鹿児島大学)南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 琉¹、中東 和夫¹、山下 幹也²、飯島 耕一³('東京海洋大学、 ² 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殿構造の特徴 * 勝間田 明男¹('富山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直具方性と応力場の関係 * 長岡 優¹、西田 究²、青木 陽介²、武居 実²('気象大学校、 ² 東京大学・地震研究所)地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 該也'、井出 哲¹、松原 諫²、(*東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 気景大野・大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) の第6年表別の工作を表した低周波地震の再定義 * 矢野 該也'、井出 哲¹、松原 諫² (*東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) の第7年表の東京・大学・大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所) の第7年表の東京・大学院理学系研究科地球球星科学専攻、 ² 国立研究開発法人防災科学技術研究所)、「東京海洋大学、 ² 東京大学大学、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京大学大会、東京海洋、東京海洋、東京海洋大会、東京の東京海洋、東京海洋、東京海洋、東京海洋、東京海洋、東京海洋、東京海、東京海洋、東京海洋	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志 ¹、荒木 英一郎¹('海洋研究開発機構) SWOT衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インバージョン解析 * 石島 清宏 ¹、綿田 辰吾 ³ ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 両色 健良 ² ('東北大学大学院理学研究科地学専攻、² 東北大学災害科学国際研究所、3 新潟大学教育学部、4 新潟大学災害・復興科学研究所、5 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インバージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) ・ 馬島満治いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 保野 未羽 ¹、谷岡 勇市郎 ²、中垣 達也 ²、山中 悠資 ⁴ ('札幌管区気象合、² 北海道大学広域復合災害研究でンター、3 東京大学地震研究所、4 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷 歩 ¹ ('東北大学) 二次元非静水圧二層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地震性津波のシミュレーション * 内藤 瑛乃 ¹、馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 ー1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震についてー * 伊尾木 圭衣 ¹、山下 裕亮 ² ('産業技術総合研究所地質調査総合センター、2 宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センター) 日本海沿岸の確率論的な津波ハザード評価に向けた特性化波源断層モデル群の設定:兵庫県北方沖~北海道北西沖 * 村田 耕一 ¹、藤原 広行 ²、中村 洋光 ²、平田 賢治 ²、土肥 裕史 ²、森川 信之 ²、松山 尚典 ¹、根本 信 ³、張 学磊 ¹、木村 洋 ¹ (' 応用地質株式会社、² 防災科学技術研究所) 育・地震学史 100 円ショップの商品で作る震源メカニズム解の教材 * 小林 励司 ¹ (* 鹿児島大学) 断層パラメタの直感的理解のためのピーチボール立体模型の開発 * 麻生 尚文 ¹、伊倉 真論 ¹、日下部 秀太 ¹ ('東京理科大学) 属性に応じた動的避難誘導システムの構築と実証実験 ー 横浜市金沢区を対象として	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19	* 椎名 高裕 、雨澤 勇太 、中村 友彦 、深山 黄 、堀川 晴央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1 (産業技術総合研究所、3 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿¹²、篠原 雅尚³⁴、青井 真³、武田 哲也³、功刀 卓³、植平 賢司³、望月 将志³、田中 伸一⁴(' 北海道少学大学院理学研究院附属地農火山研究観測センター、2 東北大学大学院理研究科地農・噴火予知研究観測センター、3 防災科学技術研究所、4 東京大学地農研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地農発生帯モデル * 高側 一郎 ¹、濱田 洋平²、奥田 花也²、田村 芳彦²、坂口 有人¹('山口大学大学院創成科学研究科、2 海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直¹、竹中 博士²、豊国 源知³、中村 衛⁴、関根 秀太郎⁵、阿郎 信太郎⁵、浅野 陽=6、八木原 寬²、平野 升一郎²(' 同山学院大学、2 岡山大学、3 東北大学、4 琉球大学、5 地震予知総合研究振興会。6 防災科学技術研究所、7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における連路海洋地殻の構造を化 * 金子 琉¹、中東 和夫¹、山下 幹也²、飯島 耕一³(' 東京海洋大学、2 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源センター) 北朝維核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男¹ (' 電山大学) マグマだまり内の S 波速度鉛直異方性と応力場の関係 * 長岡 優*、西田 究²、青木 陽介²、武陽 東²(' 気象大学校、2 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 誠地 1、井山 哲、松原 誠²('東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、2 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 気線庁一元化震源カタログを用いた最大振幅による減衰構造の再解析(その2) * 関根 秀太郎¹ (' 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) Spatial variation of crustal anisotropy around active volcanoes in Japan derived from shear wave splitting analysis * 州山和和和田 社 科は器 区 いまな表現表構造の再解析(その2) * 関根 秀太郎¹ (' 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) Spatial variation of crustal anisotropy around active volcanoes in Japan derived from shear wave splitting analysis * Muhammad Haikal Gunarya¹, Junichi Nakajima¹, Faiz Muttaqy² ('Department of Earth and Planetary Sciences, Institute of Science Tokyo, Japan, 'Research Center for Geological Disaster, National Research and Innovation Agency (BRIN), South Tangerang, Indonesia) 2生の物理 摩擦発発を考慮した中速度回転が開発が表現を描述の解析が表現の表現を表現を表現した。 * 中述 技術館の構造を作品を表現を表現を表現を表現を表現を表現と表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18.地震教 P18-01 P18-02	海底光ファイバーの DAS 配録による津波の検出 * 利根川 貴志 ¹、 荒木 英一郎 ¹ ('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリテー 1 諸島地震津波インパージョン解析 * 不る島 清宏 ¹ ²、 綿田 辰吾 ³ (!東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 ² エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敏 ¹、 飯田 雅貴 ˚ 、管原 大助 ²、石澤 尭史 ²、 高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴、 真包 健良 ² (東北大学大学院理学所究料や学専攻、² 東北大学大学高理学研究所、³ 新潟大学教育学部、新潟大学災害・復興科学研究所、⁵ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) 干島海清治いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 《嬰野 未羽 ¹、 谷岡 勇市郎 ²、 中垣 達也 ³ 』山中 悠寶 ⁴ ('礼幌管区気像台、² 北海道大学広域複合災害研究センター、³ 東京大学地震研究所、⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本治岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学) S-net 水圧計のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 * 水谷歩 ¹ (¹ 東北大学) 二次元非静水圧工層流モデルによる 2020 年アラスカサンドポイント地震に伴った非地農性津波のシミュレーション * 内閣 様乃 ¹、 馬場 俊孝 ¹ ('徳島大学大学院) 宮崎市野島での津波の浸水範囲 ー1662 年日向灘地震と 1707 年宝永地震についてー * 伊尾木 圭衣 ¹、 山下 裕亮 ² ('産業技術総合研究所地質調査総合センター、² 宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センター) 日本海沿岸の確率論的な津波ハザード評価に向けた特性化波源断層モデル群の設定:兵庫県北方沖〜北海道北西沖 * 村田 耕一 ¹、 藤原 広行 ²、 中村 洋光 ²、 平田 賢治 ²、 土肥 裕史 ²、 森川 信之 ²、 松山 尚典 ¹、 根本 信 ¹、張 学磊 ¹、 木村 洋 ¹ (' 応用地質株式会社、² 防災科学技術研究所) 育・地震学史 100 円ショップの商品で作る震源メカニズム解の教材 * 小林 励司 ¹ († 鹿児島大学) 断層パラメタの直感的理解のためのビーチボール立体模型の開発 * 水田 尚文 ¹、 伊倉 真論 ¹、 日下部 秀太 ¹ ('東京理科大学)	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19	* 椎名 高裕 '、雨澤 勇太 '、中村 友彦 '、深山 黄'、堀川 晴央 '、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 ' (産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ (' 防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿¹、篠原 雅尚 ³⁴、青井 真³、武田 哲也³、功刀 卓³、植平 賢司³、望月 捋志³、田中 伸一⁴ (' 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、	P17-01 P17-02 P17-03 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教P18-01 P18-02 P18-03 P18-04	海底光ファイパーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貴志 '、 荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ' ² 、線田 辰吾 '('東京大学大学院理学系研究料 地球惑星科学専攻、2 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、 ³ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・別茂地区で発見された津波推構物に基づく波源断層の推定 * 増田 英敬 '、飯田 雅貴 '、菅原 大助 ² 、石澤 尭史 ² 、高清水 康博 ³ 、ト部 厚志 ⁴ 、貞包 健良 ³ (「東北大学大学院理学研究科地学専攻、 ³ 東京大学以書科学国際研究所、 第	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19	* 椎名 高裕 1、雨澤 勇太 1、中村 友彦 1、深山 覚 1、堀川 晴央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1 (産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/関数から推定した西南ロ本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦 ¹ ('防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序稿 * 福島 駿 ¹²、青井 真³、武田 哲也³、功刀 卓³、植平 買司³、望月 別志³、即中 伸一⁴ (*北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、2 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター。3 防災科学技術研究所, * 海京大学地震研究所) * 海京大学地震研究所) * 高個一郎 1、濱田 洋平 2、奥田 花也²、田村 芳彦 2、坂口 有人 1 (¹ 山口大学大学院 1 山大学 2、海洋研究所の経過が一次1 2、海洋研究開発機構) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 1、竹中 博士 2、製国 源知 3、中村 衛 4、関根 秀太郎 5、阿亞 東北大学、3 地震大学、3 地域大学。3 地域大学。4 琉球大学、5 地震予知総合研究振興会。6 防災科学技術研究所、6 配し大学。3 東北大学、4 地球上で 3、東北大学、5 地震予知総合研究振興会。6 防災科学技術研究所 7 鹿児島大学) 南鳥島周辺における浅部海洋地殻の構造変化 * 金子 诺¹、中東 和夫 1、山下 幹也 2、飯島 井 3 (1 東京海洋大学、2 国立研究開発法人 万漢研究開発法人 5 地震が開発を機構 海底資源センター) 北朝幹核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 1 (1 宮山大学) マグマだまり内の 5 波速度鉛値異方性と応力場の関係 * 長岡 優 1、西田 究 2、青木 陽介 2、武尾 実 2 (1 気象大学校 2 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野誠也 1、井出 哲 1、松原 誠 「1 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、1 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野誠也 1、井出 哲 1、松原 誠 『 1 東京大学地震研究所) 知識表表的 5 (1 公益財団法人 地震予知総合研究振興会) Spatial variation of crustal anisotropy around active volcanoes in Japan derived from shear wave splitting analysis * Muhammad Haikal Gunarya¹, Junichi Nakajima¹, Faiz Muttaqy² (1 中東) 7、高田 東 7、高田 京、 青山 本4、青本 陽介 3 (1 山形大学理学部 3、高市 第八 4、青本 陽介 3 (1 山形大学理学部 3、東大学地震研究所 4、北海道有珠昭和新山で発生している極微力が震速動から解析が表面の再解析(その 2) ・ 海道有珠昭和新山で発生している極微力が震速動が高いないで、 4、東京大学地震研究所、 4、北海道有珠昭和新山で発生している極微力が高いないで、 4、東京大学地震研究が、 4、北海道 2、東京大学地震研究が、 3、東京大学地震研究が、 4、北海道 4、東京大学地震研究が、 4、北海道 4、東京大学地震研究が、 4、北海道 4、東京大学地震研究が、 4、北海 4、東京大学・1、東京、1、東京大学・1、東京、1、東京、1、東京、1、東京、1、東京、1、東京、1、東京、1、東京	P17-01 P17-02 P17-03 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教P18-01 P18-02 P18-03 P18-04 P18-05	無底光ファイパーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志'、 荒木 英一郎'('海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インパージョン解析 * 石島 清宏 ' ¹ 、 練田 辰香'('東京大学大学院理学系研究料 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 ' ¹ 、 練田 辰香'('東京大学大学院理学系研究料 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 ' ¹ 、 練田 辰香'('東京大学大学院理学系研究料 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 ' ¹ 、 線田 辰香'('東京大学大学院理学系研究料 地球惑星科学専攻、 * 塩田 英敏 '、 飯田 雅貴 '、 菅原 大助 ' ² 、 石澤 尭史 '、 高清水 廣博 '、 ト部 厚志 '、 真包 健康 ' ² (*東北大学大学院理学研究科地学専攻、 '東北大学、海科学国際研究所、 ' ³ 新潟大学教育学部、 ⁴ 新潟大学災害・復興科学研究所、 ³ 佐渡市文化スポーツ課佐渡ジオパーク保 (*東北大学) (*東北大学) (*東北大学) (*東県大学) (*東島海溝沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 *保野 未羽 '、 谷岡 勇市郎 '、 中垣 達也 ' ³ 、 山中 悠貞 '('北側管区気象台、 ² 北海道大学広域会会災害研究センター、 ³ 東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター) 2010 年チリ地震津波の日本沿岸記録を用いた遠地津波即時予測の精度評価 *元井弘一郎 '、馬場 俊孝 '('徳島大学) (*東京大学地震研究所、 ⁴ 北海道大学大学院理学研究院地震 大田 中のアレイ解析に基づく 2025 年カムチャッカ地震に伴う津波後続波の検知 *水谷 歩 ' ('東北大学) ('東北大学) (「東北大学) (「東北大学) (「東北大学) (「東北大学) (「東北大学) (「東北大学) (「東京理和大学) (「東東東地大学) (「東東東連和大学) (「東東東連和大学) (「東東東連和大学) (「東東東連和大学) (「東東東連和大学) (「東南県北方学・大学 (「東東東連和大学) (「東南県北方学・大学 (「東東東連和大学) (「東南県市金沢区を対象として * 長野 悠歩 '、 滅辺 豪太 '、 中村 勇士 '、 金 亜伊 ' (' 様浜市金沢区を対象として * 長野 悠歩 '	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19 S08. 地震第 P08-01 P08-02 P08-03	* 椎名 高裕*1、雨澤 勇太*、中村 友彦*1、深山 覚 1、堀川 晴央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦*1(「産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * 汐見 勝彦¹ ('防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 1²、篠原 雅尚 3⁴、青井 真 3。 武田 哲也 3、功刀 卓 3、植平 賢司 3、望月 将志 3、田中 伸一 4 (*) 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、3 防災科学技術研究所、4 東京大学院理学研究科地蔵・噴火予知研究観測センター、3 防災科学技術研究所、4 東京大学院理学研究科は産・噴火予知研究観測センター、3 防災科学技術研究所、4 東京大学院理学研究科 2 海洋研究開発機構) 南西諸島における建健動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 1、竹中 博士 2、豊国 源知 3、中村 衛 4、関根 秀太郎 5、阿部 信太郎 5、浅野 陽一、八木原 寛、平野 舟一郎 7 (「岡山学院大学、2回山大学、東北大学、4 琉球大学、3 地震学力联合研究振典会 6 防災科学技術研究所、7 鹿児島大学)南島島周辺における迷師海洋地原 () 原以科学技術研究所、7 鹿児島大学) 南島島周辺における迷師海洋地原 6 市 8 前7 、武 民 実 5 () 東京海洋大学、2 国立研究開発機構 海底資源センター) * 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝周田 明男 (「富山大学) マグでだまり内の 5 波速度鉛直気方性と応力場の関係 * 長岡 優 1、西田 究 2、青木 陽介 3、武 尾 実 5 () 東京 有学 地震研究所) 北朝鮮教実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 (「富山大学) マグでだまり内の 5 波速路電音など・1 田原理の 5 (東京大学地震研究所) 北朝鮮教実験の走時残差に認められる日本列島の地殻構造の特徴 * 勝間田 明男 (「富山大学) マグでだまり内の 5 波速 6 両れ 8 前 7 。 東京 7 学地震研究所) 北殿 茨森 2 寸 1 ト特性を考慮した低周波映像の再定義 * 矢野 誠也 5 中北 1 市 8 所 7 、武 民 実 5 () 東京 大学地震研究所) の気除 7 一元 1 に関連の 7 () 東京 7 中北 1 市 1 市 1 市 1 市 1 市 1 市 1 市 1 市 1 市 1	P17-01 P17-02 P17-03 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教P18-01 P18-02 P18-03 P18-04 P18-05	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志*、荒木英一郎*(/ 海洋研究開発機構) SWOT衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インバージョン解析 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 *(『東大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 *(東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 *(東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 *(東京大学大学院理学系研究科 地球感星科学専攻、 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 地田 英敏 *(康北大学大学院理学研究科地学専攻、 宝北大学父野科学関際研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 地田 英敬 *(東北大学大学院理学研究科地学専攻、 宝北大学父野科学国際研究所, 3 新潟大学教育学部、* 新潟大学災害・復興科学研究所、5 佐渡市文化スポーツ課佐渡ソイー(中部 2 2 2 2 4 年台湾花連地震の断層推定 * 天羽 祥太 * 1、馬場 俊孝 * (*(徳島大学 *)	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19 S08. 地震第 P08-01 P08-02 P08-03 P08-04	* 椎名 高裕 1、雨潭 勇太 1、中村 友彦 1、深山 覚 1、堀川 閘央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1(「産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 * ジ兒 勝彦 ('防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 1²、森原 雅尚 3⁴、青井 真 3、武田 哲也 3、功刀 卓 3、植平 賢司 3、望月 将志 3、田中 伸一 4 ('北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究駅別センター、2 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予丸研究駅割センター、3 防災科学技術研究所、2 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 慎一郎 1、濱田 洋平 2、奥田 花也 3、田村 芳彦 3、坂口 有人 1 ('山口大学大学院側成科学研究科、2 湾岸野の開発機制) 南西諸島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松 正直 1、竹中 博士 2、豊田 源知 3、中村 衛 4、関根 秀太郎 5、阿部 信太郎 5、浅野 陽一 6、八木原 宮 7、平野 舟一郎 7 () 四山大学大学、2 回山大学 3、東北大学、3 地震予知総合研究振興会。 6 防災科学技術研究所 7 鹿児島大学) 市島島周辺における海部海洋地股の構造を化 * 金子 琉 1、中東 和夫 1、山下 幹也 3、飯島 耕一 3 (1東京海洋大学、2 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海底資源とレター) 北朝鮮核実験の走時残差に認められる日本列島の地設構造の特徴 * 勝剛田 明男 (「富山大学) マグマだまり内の 5 波速度鉛直異方性と広力場の関係 * 長岡 優 7、西田 究 3、青木 陽介 3、武尾 実 2 (「気像大学校 2 東京大学地震研究所) 地震波減衰とサイト特性を考慮した低周波地震の再定義 * 矢野 城也 1、井田 哲 1、松原 城 2 (1東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、2 国立研究開発法人 5000年) 1、東京大学地震研究所 1、東京大学地震研究所 1、東京大学地震研究所 1、東京大学地震研究所 1、東京大学地震研究所 1、東京大学 1、東京大学地震研究所 1、東京大学 1、東京大	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教 P18-01 P18-02 P18-03 P18-04 P18-05 S19. 地震一	海底光ファイバーの DAS 配線による津波の検出 * 利根川 貴志 *、 荒木 英一郎 * (' 海洋研究開発機構) SWOT 指星を用いた 2023 年ローヤリティー 諸島地震連波インバージョン解析 * 石島 清宏 * 2、 網田 辰吾 * ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 * 石島 清宏 * 2、 網田 辰吾 * ('東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻、 * 工ム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、* 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 地田 吳敏 * 、 飯田 雅貴 * 、 曾原 大助 * 、 石澤 尭史 * 2、 高清水 康博 * 。 ト部 厚志 * 、 境回 健康 * (「東北大学火き院理学研究科地学専攻、 享北大学火海学部の研究所。 * 新潟大学教育学部・ 第潟大学災害・復興科学研究所、* 佐渡市文化スポーツ課佐渡シオパーク係) 線形津波インパーク係) 線形津波インパージョンによる 2024 年台湾花蓮地震の断層推定 * 天羽 祥太 * 、 馬場 俊孝 * (' 徳島大学) 干島漁浦沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * 天羽 祥太 * 、 馬場 俊孝 * (' 徳島大学) 「忠瀬 浩弘・アウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測の精度評価 * 元井 弘一郎、 海場 俊孝 * (' 徳島大学) これは一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・ 一部・	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19 S08. 地震第 P08-01 P08-02 P08-03	* 椎名 高裕 1、雨澤 勇太 1、中村 友彦 1、深山 覚 1、堀川 關央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1 (「産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/「関数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 *シ児 勝彦 1 (*防災科学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 12、篠原 雅尚 3 * 高井 真 3、武田 哲也 3、功刀 卓 3、植甲 質司 3、望月 将志 3、田中 他一 ('北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、 3 陈災科学技術研究所、 4 東京大学院理学研究科は震・領火予知研究観測センター、 3 防災科学技術研究所、 4 東京大学地震研究所 2 月 村 5 章 2、坂口 有人 1 ('山口大学大学院側成科学研究所、 4 東京大学地震研究所) 沈み込み帯における弾性特性に支配される地震発生帯モデル * 高 債 一部 1、 清田 洋平 2、 奥田 在也 3、 切口 有人 1 ('山口大学大学院側成科学研究科、 2 海洋研究開発機構) 南西諸島における建微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度精適の推定 * 1 小松 正直 1、竹中 博士 2、豊田 瀬知 3、中村 荷 4、関根 秀太郎 6、同郎 偲太郎 5、 法野 陽一 6、八木原 夏 7、平野 舟一郎 7 (「岡山学院大学、 9 岡山大学、 3 両北大学、 3 市場介 7、 1 町 5 年 5 年 5 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教 P18-01 P18-02 P18-03 P18-04 P18-05 S19. 地震一	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川貴志 *、荒木英一郎* (* 海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インバージョン解析 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 * (* 東京大学大学院理学系研究科 地球感量科学専攻、 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 * (* 東京大学大学院理学系研究科 地球感量科学専攻、 * 石島 清宏 * 2。 稲田 辰吾 * (* 東京大学大学院理学系研究科 地球感量科学専攻、 * 石島 清宏 * 塩田 英敏 * 、飯田 雅貴 * ・曹原 大助 * ・石澤 尭史 * 、高清水 康博 * * ト部 厚志 * ・ 境包 健康 * (* 東京大学)・原井 * ・ 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 地田 英敏 * 、飯田 雅貴 * ・曹原 大助 * ・石澤 尭史 * ・ 高清水 康博 * * ト部 厚志 * ・ 境包 健康 * (* 東京大学)・東北大学 沙野科学国際研究所。 * 新潟大学教育学部、* 新潟大学災害・復興科学研究所。 6 佐渡市文化スポーツ課佐渡・プバーク保) 銀光 * 洋水 * ・ 「 * 「 * 東京大学北農の町路推定 * ・ 天羽 祥木 * ・ 馬場 俊孝 * (* 徳島大学) ・ 田海溝沿いアウターライズ巨大地震に伴う津波の即時予測手法の開発 * (* 代野・東羽 * ・ 公司 * 公司 * ・ 公司 * ・ 大学院理学研究的地域を対しておりままる。 1 中 悠貞 * (* 礼権管区気象台 * * 北海道大学広域複合災害研究センター * 東京大学地震研究所 * * 北海道大学大学院理学研究的地域を対して、一 ・ 京井 生間 * 「 * 東京大学地震研究所 * 北海道大学大学院理学研究的地域地域の日本沿野銀の日本沿野銀を全日から連出津波の助育を表すが、 1 中 1662 年日 中 17 中 17 中 18 中 17 中 18 中 18 中 18 中 18	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)
P06-09 P06-10 P06-11 P06-11 P06-12 P06-13 P06-14 P06-15 P06-16 P06-17 P06-18 P06-19 S08. 地震第 P08-01 P08-02 P08-03	* 椎名 高裕 1、雨潭 勇太 1、中村 友彦 1、深山 覚 1、堀川 明央 1、佐脇 泰典 2、内出 崇彦 1 (「産業技術総合研究所、2 立命館大学) Full-Waveform Inversion Imaging of the 2024 Noto Mw 7.6 Earthquake Rupture Zone *Hamzeh Mohammadigheymasi¹, Ehsan Jamali Hondori², Yige Yang¹, Jin-Oh Park¹ ('Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 'Geoscience Enterprise Inc. (GSE), Tokyo) レシー/開数から推定した西南日本上部地殻の異方性分布 *汐見勝彦¹ (「防災料学技術研究所) N-net 沖合システムによる分散型音響センシングデータを用いた常時微動表面波解析: 序報 * 福島 駿 1²、篠原 雅尚 3⁴、青井 真 3、武田 哲也 3、功刀 卓 3、植平 賢司 3、望月 将志 3、田中 伸一 4 (「北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター、李東北大学大学院理学研究科地震・噴火子知研究観測センター、3 防災科学技術研究所、4 東京大学地震研究所 * 東京大学地震研究所 * 東京大学地震研究所 * 海京大学地震研究所 * 河本研究明発機構) 南西語島における雑微動の相互相関解析によるグリーン関数の抽出と地震波速度構造の推定 * 小松正直¹、竹中 博士 2、豊田 源知 3、中村 衛 4、関根 秀太郎 5、阿部 信太郎 5、浅野 陽一 6、八木原 寛 7、平野 升一郎 7 (「岡山学院大学・宮岡山大学・『東北大学、東北大学、大学、東北大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大	P17-01 P17-02 P17-03 P17-04 P17-05 P17-06 P17-07 P17-08 P17-09 P17-10 S18. 地震教 P18-01 P18-02 P18-03 P18-04 P18-05 S19. 地震一	海底光ファイバーの DAS 記録による津波の検出 * 利根川 貫志 1、 荒木 英一郎 1 (1海洋研究開発機構) SWOT 衛星を用いた 2023 年ローヤリティー諸島地震津波インバージョン解析 * 石島 清志 72、 解田 辰吉 8 (1東京大学学院学系研究料 地球感量科学専攻、2 エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社、3 東京大学地震研究所) 佐渡島南部・羽茂地区で発見された津波堆積物に基づく波源断層の推定 * 地田 英敬 1、 飯田 雅貴 1、 智郎 大助 5、 石澤 尭史 2、 高清水 康博 3、 ト部 厚志 5、 貞空 健良 6 (1東京大学院理学研究科地学専攻、2 東北大学災害科学国際研究所、4 が選 7 が 7 の 第 の 5 で 7 で 7 の 7 の 7 の 7 の 7 の 7 の 7 の 7 の 7	P23-04 P23-05 P23-06 P23-07 P23-08 P23-09 P23-10 P23-11 P23-12 P23-13	山口県北部における深部群発地震のメカニズム解推定 * 今西 和俊 ¹、雨澤 勇太 ¹、宮澤 理稔 ²、西川 友章 ²、西村 卓也 ²、長岡 愛理 ²、宮町 潭太郎 ²、大見 土朗 ² (「産業技術総合研究所、 ² 京都大学防災研究所) 山口県阿武火山群周辺で観測された非定常地殻変動 * 西村 卓也 ¹、宮澤 理稔 ¹、西川 友章 ¹、長岡 愛理 ¹、宮町 凛太郎 ¹、太田 雄策 ²、高橋 浩晃 ²、大園 真子 ² (「京都大学、 ² 東北大学、 ³ 北海道大学) 島根県東部における深部低周波地震の初動メカニズム解 * 山下 桃佳 ¹、麻生 尚文 ¹ (「東京理科大学) 稠密海底地震観測記録を用いた 2024 年能登半島地震震源域での震源メカニズム推定 * 高橋 努 ¹、藤江 剛 ¹、野 徹雄 ¹、篠原 雅尚 ²、山田 知朗 ¹、悪原 岳 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 流体の貫入と拡散を示唆する背景地震活動度の時間変化と震源移動:奈良県とその周辺における群発地震活動 * 弘瀬 冬樹 ¹、中村 雅基 ¹ (¹ 気象研究所 地震津波研究部) 2025 年 7 月に箱根火山芦ノ湖南部付近で発生した群発地震活動 - 過去の群発地震活動との比較 - * 栗原 亮 ¹、本多 亮 ¹、小林 宰 ¹、安部 祐希 ¹、長縄 和洋 ¹ (¹ 神奈川県温泉地学研究所) 悪石島付近の地震計記録にみられる連続的な微動 * 松澤 孝紀 ¹、 決野 陽一 ¹、八木原 寛 ²、平野 舟一郎 ²、仲谷 幸浩 ² (¹ 防災科学技術研究所、 2 鹿児島大学 上 鬼児島大学 上 鬼児島大学 上 地域連携・防災研究センター、 2 鹿児島大学理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所、 3 鹿児島大学理工学研究科) F-net モーメントテンソル解カタログにもとづく 2025 年トカラ列島近海の地震活動の特徴 * 木村 武志 ¹、三好 崇之 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 沖永良部島南東沖・琉球海溝軸付近における群発地震の時空間変化 * 中村 衛 ¹ ² (¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、 ² 琉球大学島嶼防災研究センター) 遠地波形データを用いた MW7-9 地震の震源時間関数の系統的解析:地震成長過程における連鎖破壊の重要性 * 吉田 圭佑 ¹、平野 史朗 ² (¹ 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 ² 弘前大学 理工学研究科)

A 会場(5 降 S08. 地震発生		S18. 地震教育	会議室 409 + 410)午前 ・地震学史 の発生メカニズムの解明に向けて		会議室 411 + 412)午前 ・処理システム ・予測	S21. 惑星	(4 階会議室 413 + 414) 午前 ^B 地震学 N層 · 歴史地震
	時間 12 分·質疑応答 3 分)	通常講演(講演時	間 25 分·質疑応答 5 分) 間 12 分·質疑応答 3 分)		間 12 分・質疑応答 3 分)	通常講演(講演時間 25 分·質疑応答 5 分) 講演時間 12 分·質疑応答 3 分)
座長: 加藤 尚之、 9:00 S08-18	山下太 3 局所応力分布に制御される 6 メートル長実験断層の破壊 過程 * 山下 太 ¹、福山 英一 ²¹、大久保 蔵馬 ¹、松本 圭晶 ¹ (゚国立研究開発法人防災科学技術研究所、²京都大学大 学院工学研究科)			座長:片上智史、 9:00 S02-01	<u> </u>	9:00 S2	寺 圭祐、西田 究 1-01 惑星地震学のレビュー:アポロからインサイトまで * 小野寺 圭祐 ¹ (「岡山大学惑星物質研究所)
9:15 S08-19	- · · · · · ·		昭和前期の地震科学諸領域形成の「場」としての阿武山 地震観測所:行政文書分析のアプローチから * 菱木 風花 ^{1,2,3} (¹ ー橋大学、 ² 明治大学、 ³ 核融合科学 研究所)		香川県における地震津波の複合災害予測と地殻活動モニタリング *高橋 成実 '、今井 健太郎 ² 、近貞 直孝 ¹ 、笠井 武志 ³ 、野々村 敦子 ³ 、橋城 一嘉 ⁴ 、山本 揚二朗 ² 、大井 昌弘 ⁴ 、 5井 大輔 ⁵ (¹ 防災科学技術研究所 ² 海洋研究開発機能 ³ 香川大学 ⁴ 静岡県立大学 ⁵ NTT ドコモビジネス)	9:15 S2	1-02 [®] 日本における惑星地震探査 一黎明から未来への挑戦一 * 田中 智 ¹ 、水谷 仁 ¹ (「JAXA 宇宙科学研究所)
9:30 S08-20) 臨界核サイズの静的応力降下量および垂直荷重への依存性:大型岩石摩擦実験による検討* 松本 圭晶・大久保 蔵馬 '、山下 太 '、福山 英一 ^{2,1} (「国立研究開発法人防災科学技術研究所、 ² 京都大学大学院工学研究科)		-2008 年岩手・宮城内陸地震の痕跡をめぐる -1 開催 の意義 の意義 "根本 麥雄"、荒井 賢 -2 、池田 尚 -3 、加納 靖之 4 、桑野 修 5 、佐藤 明子 6 、南島 正重 7 、山野 誠 8 、朱里 泰治 9 、鈴木 比奈子 10 、高橋 尚志 11 (1 立命館大理エ、 2 栄東高、 3 門真市立小、 4 東大震研、 5 海洋研究開発機構、 6 大磯腐、 7 都立両国中高、 8 東大大気海洋研、 9 洛星中高、 10 専修大文、 11 東北大災害研)				
9:45 S08-21	スロースリップイベントの発生間隔と速度・状態依存摩 擦則のパラメター推定 * 加藤 尚之¹(¹東京大学地震研究所)	座長: 今西 和俊、 9:45 S23-01		9:45 S02-04	海底深部掘削孔内歪計で観測した歪地震動と地殻変動 * 辻 修平 '、荒木 英一郎 '、松本 浩幸 '、町田 祐弥 ' (「海洋研究開発機構)	9:45 S2	 11-03 月面地震観測ネットワーク構築に向けたレーザー干渉式広帯域地震計の開発 *新谷 昌人、、小野寺 圭祐²、川村 太一³、辻 健⁴、日中 智⁵(1 東京大学地震研究所、²岡山大学惑星物質研究所、³パリシテ大学地球物理研究所、⁴東京大学大学院コ学系研究科、⁵宇宙前空研究開発機構宇宙科学研究所)
10:00 S08-22	地震のべき乗則に迫る:地震の数理モデルが示す相転移 境界の導出 * 大谷 哲人 ¹ 、亀 仲樹 ¹ (¹ 東京大学 地震研究所)	10:00 S23-02	山口県北部群発地震: 震源分布の複雑な時空間変化と駆動メカニズム ** 雨澤 勇太 ¹ 、矢部 優 ¹ 、佐脇 泰典 ² 、今西 和俊 ¹ 、宮 澤 理稔 ³ 、西川 友章 ³ 、西村 卓也 ³ 、長岡 愛理 ³ 、宮町 凜太郎 ³ 、大見 士朗 ³ (「産業技術総合研究所 地質調査 総合センター、 ² 立命館大学 理工学部、 ³ 京都大学 防災研究所)		2024 年日向灘地震・2025 年カムチャッカ半島沖地震 の前後における間隙圧応答変化 *有吉 慶介 ¹ 、荒木 英一郎 ¹ 、松本 浩幸 ¹ 、町田 祐弥 ¹ 、 辻 修平 ¹ 、横引 貴史 ¹ 、西田 周平 ¹ 、肥前 大樹 ¹ 、猿橋 具知 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、青池 寛 ¹ 、飯沼 卓史 ¹ 、中村 恭之 ¹ 、 膝江 剛 ¹ 、堀 高峰 ¹ 、江口 暢久 ¹ 、小平 秀一 ¹ (¹ 海洋研 次開発機構)		21-04 隕石衝突火震 S1034a の地震波形モデリングを通じた 浅部不均質構造の検討:表面波楕円率と P 波コーダによる波形形状特徴再現 * 平井 隼人 '、前田 拓人 '、平野 史朗 ' (' 弘前大学大学院
10:15 S08-23	微弱な応力振動による粉体層のすべり誘発坂本龍之輔¹、* 波多野 恭弘「('大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻)	10:15 S23-03				10:15 S2	21-05 InSight ハンマリングプローブ (HP3) 振動を用いたン 星地震波散乱解析 * 小松 研人 、辻 健 ¹、川村 太一² (¹東京大学大学) 工学系研究科システム創成学専攻辻研究室、² パリ地球 物理研究所)
10:30	休憩	10:30	休憩	10:30	休憩	10:30	休憩
座長: 平野 史朗、 10:45 S08-24		座長: 寺川 寿子、 10:45 S23-04			High performance seismic observation by distributed acoustic sensing using seafloor cable observation system off Sanriku * 篠原 雅尚 ¹、 He Zuyuan²、田中 伸一 ¹、大塚 宏德 ¹、¹、中東六学地震研究所、² State Key Laboratory of Photonics and Communications, Shanghai Jiao Tong University)	10:45 S2	寺 圭祐、新谷 昌人 11-06 次世代小天体サンプルリターンミッションでの彗星内音構造探査 * 坂谷 尚哉 '、川村 太一 ² 、田中 智 ¹ 、熊本 篤志 ³ 、損生 有理 ¹ 、黒川 宏之 ⁴ 、岡田 達明 ¹ (「宇宙航空研究隊発機構、 ² パリ地球物理研究所、 ³ 東北大学、 ⁴ 東京大学
11:00 S08-25	 Unraveling the Complex Rupture Processes of the 2024 Noto Peninsula Earthquake through 3D Wavefield Simulations and MCMC Inversion * 榎本 倫太郎¹、金子 善宏¹、唐 啓賢²、福島 洋²、後 藤 浩之²、宮崎 真一¹(1京都大学大学院理学研究科 ²東北大学災害科学国際研究所³ 京都大学的災研究所) 		下部地殻で発生した山口県萩市の群発地震: 地震移動の 駆動源に関するひとつの考察 * 中島 淳- ¹、宮崎 一希 ²、末永 伸明 ²、東 真太郎 ¹、 吉岡 祥一 ² ³ (「東京科学大学、² 神戸大学都市安全研究 センター、3 神戸大学大学院理学研究科感星学専攻)		DAS による三陸沖地震観測データを用いた自動読み取り手法の開発 ・堀内 茂木 '、篠原 雅尚 '、吉田 稔 ² 、平山 義治 ² 、山 手 勉 ² 、Tony Smits ² 、藤原 広行 ³ (¹ 株式会社 ホー ムサイスモメータ、 ² 株式会社 白山工業、 ³ 防災科学技 術研究所、 ⁴ 東京大学地震研究所)		21-07 個別要素法による階層粉体の圧密数値シミュレーション * 荒川 創太 ¹ 、古市 幹人 ¹ 、西浦 泰介 ¹ (¹ 海洋研究開系 機構)
11:15 S08-26	5 2025 年ミャンマー・マンダレー地震における破壊伝播 速度の変遷 * 平野 史朗 ¹ 、道家 涼介 ¹ 、前田 拓人 ¹ (¹ 弘前大学)	11:15 S23-06"	松代地震から判ること * 松浦 律子 ¹ (¹ 公益財団法人地震予知総合研究振興会)	11:15 S02-09	DASを用いた水平・鉛直アレイ観測および深層ボーリング抗における地震波形解析*内藤 昌平 '・中村 洋光'、藤原 広行 '、櫻井 健 '、鈴木 晴彦 '、小西千里 ² 、小川 直人 ² 、武部 真樹 ³ ('防災科学技術研究所、 ² 応用地質株式会社、 ³ 三菱電機ソフトウェア株式会社)		21-08 土星衛星タイタン離着陸探査 Dragonfly における地震制 測パッケージの開発状況 * 白石 浩章¹、三谷 烈史¹、川村 太一²、小野寺 圭佑³ 山田 竜平⁴、田中 智¹、村上 英記³、Lorenz Ralph ⁶ Mehr Lauren ⁶ 、Sotzen Kristin ⁶ 、Hacala Ryan (¹国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機 宇宙科学研究系、パリシテ大学、パリ地数 物理研究所、フランス国立科学研究センター、³岡山プ学惑星物質研究所、 ⁶ 会津大学 復興創生支援センター 高知大学、 ⁶ ジョンズホプキンス大学応用物理学研究所 良浩、大上降史
11:30 S08-27	⁷ 2025年ミャンマー地震における特異な遠地 P 波形をも たらした震源過程の推定 * 井上 尚滉 '、八木 勇治 '、奥脇 亮 '、山口 諒 '、 Enescu Bogdan ² 、Tadapansawut Tira ³ (¹ 筑波大学 ² 京都大学、 ³ Rajamangala University of Technology Lanna)			11:30 S02-10	鉄道沿線の既設光ケーブルを用いた DAS による早期地 震警報手法の開発 * 片上 智史 ¹ 、是永 将宏 ¹ (¹ (公財)鉄道総合技術研究 所 鉄道地震工学研究センター 地震解析)	11:30 S1	艮志、大上 隆史 0-01 海底活断層調査にもとづく布田川断層帯宇士半島北岸区間における第四紀後期の活動性 *大上 隆史 ¹、多良 賢二 ²、一井 直宏 ²、細矢 卓志 ³ 後藤 慧 ³(「産業技術総合研究所・地質調査総合センター活断層・火山研究部門、²川崎地質株式会社、³中央開系株式会社)
11:45 S08-28	- 遠地地震波動場からの 2025 年ミャンマー地震の震源断 - 層再構成 * 佐藤 大祐 ¹ 、奥脇 売 ² 、八木 勇治 ² 、深畑 幸俊 ³ (¹ 海 洋研究開発機構、 ² 筑波大学、 ³ 京都大学防災研究所)		能登半島群発地震の応力降下量の時空間変動 * 小菅 正裕 ¹ (¹ 弘前大学大学院理工学研究科)		N-net 及び DONET の海底地震計による低周波鯨類鳴音と音源移動の検出 * 岩瀬 良一 ¹(¹国立研究開発法人海洋研究開発機構)	11:45 S1	0-02 サロベツ断層帯海域延長部の調査空白域で実施した高分解能音波探査結果 * 内田 康人 '、丸山 純也 '、檜垣 直幸 ' (' (地独) 北洋道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 地域地質部)
		12:00 S23-08	日向灘における群発地震検出とスロー地震との関係の調	座長:西田究 12:00 S14-01	見逃されてきた地震鉛直衝撃波 - その4 市民によるラジオノイズ観測情報システム:RISCO -	12:00 S1	0-03 能登半島西方沖の羽咋沖西断層周辺における臨時地震観測と震源再決定

A 会場(5 階国際会議室 501)午後 B 会場 (4 階会議室 409 + 410) 午後 C 会場 (4 階会議室 411 + 412) 午後 D 会場 (4 階会議室 413 + 414) 午後 S08. 地震発生の物理 S23. 群発地震の発生メカニズムの解明に向けて S03. 地殼変動·GNSS·重力 S10. 活断層·歷史地震 S15. 強震動・地震災害 S11. 地震に伴う諸現象 S09. 地震活動 招待講演(講演時間 16 分·質疑応答 4 分)通常講演(講演時間 12 分·質疑応答 3 分) 通常講演(講演時間 12 分·質疑応答 3 分) 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 通常講演(講演時間 12 分·質疑応答 3 分) 座長:三井雄太、町田祐弥 座長:川中 佳子 座長: 加納 靖之、白濱 吉起 座長:吉田圭佑、雨澤勇太 13:30 S08-29 日本列島の深部低周波地震の放射エネルギーの網羅的推 13:30 S23-09 箱根火山における群発地震の活動様式とその発生要因の 13:30 S03-01 九州地殻における 2016 年熊本地震後の非弾性歪み速度 13:30 S10-04 高知県の複数地点における宝永・安政・昭和南海地震の 根依人山になり、なかわらない。 株計 * 行竹 洋平 ¹、本多 亮 ²、道家 涼介 ³(¹ 東京大学地震研究所 火山噴火予知研究センター、² 神奈川県温泉地学研究所、³ 弘前大学大学院理工学研究科) の時間変化とその特徴 * 永山 勇志 ¹、松本 聡 ²、湯淺 雄平 ³、松島 健 ²、江本 賢太郎 ²(¹九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻、 際の海岸昇降量 * 加納 靖之 ¹² (¹ 東京大学地震研究所、² 東京大学地震 火山史料連携研究機構) 震・噴火予知研究観測センター) 真太郎 (九州人子人子院理子市地域念堂科子寺域) ² 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究セン ター、³ 気象庁) 超稠密 GNSS データを用いた時系列と変位ベクトルス 13:45 S10-05 地殻変動と津波の痕跡から推定される近世以降の南海ト 13:45 508-30 南海トラフにおける力学的固着と 1707 年宝永地震の応 13:50 523-10 御嶽山における火山性群発地震活動を駆動する物理メカ 13:45 503-02 タッキングによる沖縄本島周辺で発生する短期的 SSEの検出 ニズムの考察 * 寺川 寿子 ¹、前田 裕太 ¹、堀川 信一郎 ¹ (¹ 名古屋大学 大学院環境学研究科 附属地震火山研究センター) ラフ地震の破壊形態多様性 * 今井 健太郎 ¹、堀 高峰 ¹ (¹ 国立研究開発法人海洋研究 * 齊藤 竜彦 ¹、久保田 達矢 ¹(¹ 防災科学技術研究所地震 が終め、 ・ 野蒜 尚幸 ¹、西村 卓也 ²、宮崎 真一 ¹、松島 健 ³(¹京 都大学大学院 理学研究科、²京都大学防災研究所、³九 州大学大学院理学研究院 附属地震火山観測研究セン 津波発生基礎研究部門) 伊豆半島東方沖群発地震活動に含まれる中規模地震の破 14:00 S03-03 GNSS データを用いた南海トラフ沿いの長期スロース 14:00 S10-06 嘉永(安政)東海・南海地震前後の地震活動復元に向け 壊の複雑性:過去の群発地震活動による破砕の影響の示 リップイベントの包括的カタログの作成 た有感記録の抽出とその特性に関する検討ー『竹斎日記 14:00 S08-31 なぜ南海地震時, 紀伊半島南部で揺れの被害が少なかっ 14:05 S23-11 GNS5 テータを用いた開海トラフ治いの長期スロース リップイベントの包括的カタログの作成 *高橋 輝起1、高木 涼太1、日野 亮太1、岡田 悠太郎2 (「東北大学理学研究科、2東北大学災害科学国際研究所) * 山中 佳子 ¹ (¹ 名古屋大学) 稿」を例として-* 石辺 岳男 1,2 、西山 昭仁 3 、原田 智也 4 (1 公益財団法 人地震予知総合研究振興会、 2 統計数理研究所、 3 奈良文 唆田中 夕香子 * 山田 卓司 ² (¹ 気象庁鹿児島地方気象台、² 茨城大学) 化財研究所、⁴なし) 座長: 久保 久彦 14:15 S03-04 2014-2016 年紀伊水道長期的スロースリップイベント 14:15 S10-07 宮古島断層帯の活断層調査結果 の時空間発展推定:スロースリップの伝播と LFE 活発 * 白濱 吉起 、レゲット 佳 ²、 14:15 S11-01 南海トラフにおける周期 10 秒の振動現象 14:20 S23-12 # 2025 年トカラ列島近海の群発地震活動 *深尾良夫¹、Kim Taewoon¹(¹海洋研究開発機構横浜研究所 海域地震火山部門) * 白濱 吉起¹、レゲット 佳²、阿部 恒平³、黒澤 英樹³ (¹東京大学、²産業技術総合研究所、³応用地質株式会社) 。 「岡田 望海 ¹、三井 雄太 ¹、加藤 愛太郎 ²(¹ 静岡大学、 東京大学地震研究所) 2025 年トカラ列島近海における群発地震活動の時空間 14:30 503-05 駿河トラフの浅い領域で数ヶ月間継続するスロースリッ 14:30 510-08 東大寺の大鐘を揺り落とした 1070 年延久、1096 年嘉 14:30 S11-02 能登半島地震における輪島市河井町の地震火災(再論): 14:40 S23-13 地中ガス由来の「時差型地震動シャンパン効果」による ジオハザード プイベント
*三井 雄太 1、菊地 祐次 2、加納 将行 3(1 静岡大学理学 保, 1177 年治承の3 地震について * 石橋 克彦 ¹ (¹ 神戸大学名誉教授) * 榎本 祐嗣 ¹(¹ 信州大学 名誉教授・リサーチコーディ 部、2元·静岡大学大学院総合科学技術研究科、3東北大 京大学情報学環) 学大学院理学研究科) 14:45 S03-06 SGO-A 観測網が示す南海トラフのプレート境界浅部の * 横田 裕輔 ¹、石川 直史 ²、渡邊 俊一 ³、永江 航也 ³、中村 優斗 ³(¹東京大学生産技術研究所、²海上保安大学 3海上保安庁海洋情報部) 15:00 休憩 15:00 休憩 15:00 休憩 15:00 休憩 座長:上野 友岳、小山 凱 座長:加藤愛太郎、岡田悠太郎 座長:横田裕輔 座長:司宏俊、友澤裕介 15:15 S09-01 統計モデルを用いた大地震前の前震活動加速現象に関す 15:15 S23-14 トカラ列島において発生した地震の FAMT 解析ならび 15:15 S03-07 内部潮汐による音速変動が GNSS-A 測位に与える影響 15:15 S15-01 強震動データフラットファイルのデータを用いたプレ-に微小地震を含む震源再決定 * 小松 正直 ¹、竹中 博士 ²、岡元 太郎 ³、浅野 陽一 ⁴、 八木原 寛 ⁵、平野 舟一郎 ⁵(岡山学院大学、²岡山大学、 ³東京科学大学、⁴防災科学技術研究所、⁵鹿児島大学) *石川 直史¹、横田 裕輔²、渡邊 俊一³、增永 英治'('海上保安大学校、²東京大学生産技術研究所、³海上保安庁海洋情報部、⁴茨城大学地球·地域環境共創機構) ト間地震の地震動予測式の比較 * 古村 美津子 '、田中 裕人 ²、高浜 勉 ²、松浦 律子 ¹ ('公益財団法人 地震予知総合研究振興会地震調査研究 センター 解析部、²株式会社 構造計画研究所) る全世界的調査 * 小山 凱 1 、西川 友章 2 (1 京都大学 理学研究科、 2 京都大学 防災研究所) メカニズム解を用いた 2025 年トカラ列島近海群発地震 15:30 S03-08 浅いプレート境界地震と地殻内地震の地震動最大値距離 15:30 S09-02 大地震前後および流体による断層破壊過程の特徴変化: 15:30 S23-15 駿河湾西部における、えい航ブイシステムを用いた 15:30 S15-02 の応力モニス所を用がた2023 年 アカンカ島近角は元忠版 の応力モニタリング * 今西 和俊 ¹、矢部 優 ¹、加藤 愛太郎 ²、八木原 寛 ³ (¹産業技術総合研究所、²東京大学地震研究所、³鹿児 GNIS-A 海底地殼麥動觀測 * 生田 領野 ¹、原田 靖 ²、佐柳 敬造 ²、田所 敬一 ³(¹ 静 岡大学理学部地球科学科、²東海大学海洋研究所、³ 名古 日本における小地震の地震波放射エネルギーの網羅的推 減衰特性の比較 * 司 宏俊 1 (1株式会社サイスモ・リサーチ) * 織茂 雅希 ¹、吉田 圭佑 ¹(¹ 東北大学理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター) 屋大学環境学研究科) 15:45 S09-03 2003 年十勝沖地震前の地震活動の Natural time 解析 15:45 S23-16 2025 年トカラ列島近海の群発地震に同期した過渡的な 15:45 S03-09 DONET 水圧計の現場校正による南海トラフ地震発生域 15:45 S15-03 統計的グリーン関数法におけるグリーン関数の改良につ 2023 年トガラ列島近海の辞末地震に同期した週級时は 地殻変動 * 岡田 悠太郎 ¹、太田 越策 ²、大舘 未来 ²、伊藤 嘉秋 ²、大園 真子 ^{3、}中尾 茂 ⁴(「東北大学 災害科学国際研究所、 ² 東北大学 大学院理学研究科、³北海道大学 大学院理 学研究院所属地震火山研究観測センター、⁴ 鹿児島大学 版計的ソリーノ関数がにおけるプリーノ関数の以及にフ いて 一その3: 地殻層構造と Q 値の上限を考慮した高 振動数波の再現-* 久田 翡章¹、田中 信也²、金田 惇平²、引間 和人³ (*工学院大学建築学部、²東電設計株式会社、³東京電 カホールディングス) と統計的有意性 での長期海底地殻変動 *町田 祐弥¹、西田 周平¹、松本 浩幸¹、荒木 英一郎 勝俣 啓 1 (1 北海道大学大学院理学研究院附属地震火 (1海洋研究開発機構 海域地震火山部門) 山研究観測センター) 大学院理工学研究科) 主成分分析による海底水圧計データからの非定常地殻変 16:00 S15-04 16:00 S09-04 Analysis of Precursory Seismicity and Transient 16:00 S23-17 2025 年トカラ列島群発地震にみられる震源群の移動と 16:00 S03-10 地震動の経時特性の類似性評価に基づく Site-Proxy 地 Changes in b-Value for Near-Real-Time Volcanic Eruption Forecasting *Thystere Matondo Bantidi¹, Kazuyoshi Nanjo²,3,4,5, 動検出の試み * 山田 朋輝¹、日野 亮太^{1、}、久保田 達矢²、大塚 英人^{1,3}、 太田 越策¹(¹東北大学大学院理学研究科、² 防災科学技 術研究所、³ 聖光学院中学校・高等学校) 震動予測モデルの構築 * 李 陽洋 ¹、山口 純輝 ¹、友澤 裕介 ¹、坂 敏秀 ¹(¹ 鹿島 建設株式会社 技術研究所) 余震様減衰 * 遠田 晋次 ¹(¹東北大学災害科学国際研究所 災害理 学研究部門) Takeo Ishibe^{1,4}, Takeshi Nishimura⁶, Bogdan Enescu^{4,7,8}, Anscair Mukange Besa⁹ (¹Association for the Development of Earthquake Prediction (ADEP), ²University of Shizuoka, ³Shizuoka University, ⁴Institute of Statistical Mathematics, ⁵Japan Agency for Marine Ear²th Science and Technology, ⁶Tohoku University, ⁷Kyoto University, ⁸National Institute for Earth Physics (NIEP), ⁹University of Kinshasa) 16:15 S09-05 地震マグニチュードのクラスタリングによる情報利得: 16:15 S23-18 テンプレートマッチング法を用いた沖縄トラフ中南部の物理モデルからの示唆 * 三上 周大 ¹、波多野 恭弘 ¹(¹ 大阪大学) 特発地震活動特性の比較 * 安部 祐志 ³¹、中村 衛 ¹²(¹ 琉球大学理学部物質地球科学科、² 琉球大学島嶼防災研究センター、³ 応用技術株 16:15 S15-05 周期帯を考慮した条件付き敵対的生成ネットワークとス ペクトルインパージョン解析による時刻歴波形群生成 * 山口 純輝 ¹、友澤 裕介 ¹、李 陽洋 ¹、坂 敏秀 ¹ (¹ 鹿島 建設株式会社 技術研究所)

> 16:30 S15-06 観測データとシミュレーションデータを融合したデータ ベースから構築した地殻内地震の地震動予測モデル * 友澤 裕介 ¹、引田 智樹 ¹、山口 純輝 ¹、李 陽洋 ¹、坂 敏秀 ¹(¹ 鹿島建設技術研究所)

#は招待講演

16:30 S09-06 2016 年熊本地震におけるせん断歪エネルギー変化と地

震モーメント * 上野 友岳 ¹、齊藤 竜彦 ¹、田中 佐干子 ¹、Meneses-Gutierrez Angela¹(¹ 防災科学技術研究所)

ポスター発表 10月21日(火) 17:00~18:45 ポスター会場 (5階会議室 502 + 503) S01, S03, S05, S07, S09, S10, S12, S13, S14, S15, S16, S21, S24, S25

S01. 地震 P01-01	の理論・解析法 稠密地震観測網を用いたアレイ解析による環境振動検知システムの構築	P09-17	高自由度な震源過程モデルの階層クラスタリング:平成5年(1993年)北海道南 西沖地震への適田 *原嶋 幸生'、八木 勇治'、奥脇 亮'('筑波大学)	P15-20	埼玉県南東部における浅部地質と微動 H/V スペクトルのピーク周波数の分布 *長 郁夫 「、先名 重樹 2、野々垣 進 ¹ (¹ 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 ² 防災科学技術研究所)
P01-02	*Fukuda Kohei ¹ 、山田 真澄 ² (¹ 京都大学大学院理学研究科 ² 京都大学防災研究所) 局所定常 AR モデルを用いた理論グリーン関数波形の初動到着時刻の自動検測	P09-18	発震機構データを用いた九州内陸の地震発生層における応力鉛直変化検出の試み *三島 瀬里香 、松本 聡 、 江本 賢太郎 、 湯淺 雄平 3、永山 勇志! (1九州大学大	P15-21	対力ペイチナスWWWIのJAJFI/ 解放地震基盤相当面における地震動の推定手法の比較 * 田島 礼子 '、 備田 豊' ('原子力規制庁)
P01-03	* 小割 啓史 ^{1,2} 、竹中 博士 ¹ (¹ 岡山大学、 ² 阪神コンサルタンツ) 非線形波形インバージョンによる CMT 解析法の開発:日本周辺の CMT 解への地		一曲 解主目、1位半線、14半貫へ即、100歳 et T、小川 秀心 (プロハナハ 学院理学所地球惑星科学専攻、2九州大学大学院理学研究院付属地震火山観測研究センター、3気象庁)	P15-22	出版では、
	球構造モデルの影響 * 比嘉 大洋 ¹ 、吉澤 和範 ¹ 、木村 武志 ² (¹ 北海道大学、 ² 防災科学技術研究所)	P09-19	微小地震観測により捉えられた, 日奈久断層帯日奈久区間と八代海区間における震 源分布の特徴		。 田中 智誠 、 麻生 同义 (東京球科大学)
P01-04	琉球海溝と日本海溝における全波形トモグラフィに向けた分解能と波形感度の検討 * 岡元 太郎 ¹、竹中 博士 ²、中村 武史 ³、小松 正直 ⁴(¹東京科学大学、²岡山大学、 ³電力中央研究所、 ⁴ 岡山学院大学)	P09-20	* 髙橋 秀暢 ¹ 、青柳 恭平 ¹ 、木村 治夫 ¹ (¹ 電力中央研究所) 阿蘇山における多様な火山性地震の地震活動 * 黒岩 春香 ¹ 、麻生 尚文 ¹ (¹ 東京理科大学)	S16. 地盤桿 P16-01	場造・地盤震動 活断層を横断する稠密敵動観測事例 * 西本 壮汰 ² 、香川 敬生 ¹ 、野口 竜也 ¹ (¹ 鳥取大学工学部、 ² 鳥取大学大学院持終
P01-05	傾斜を考慮したレシーバー関数イメージングの振幅補正手法 * 宮崎 一希 1 、中島 淳一 2 (1 神戸大学 都市安全研究センター、 2 東京科学大学 地球惑星科学系)	P09-21	トカラ列島近海における地震活動解析 * 千葉 慶太 1 (1 地震予知総合研究振興会 地震防災調査研究部)	P16-02	性社会創成科学研究科工学専攻) 岡山平野南部児島湾沿岸部における微動探査 *山田 伸之'、竹中 博士 ² (¹ 高知大学、 ² 岡山大学)
P01-06	3 次元数値シミュレーションを用いたレシーバ関数解析によるフィリピン海スラブ 検出感度の定量評価 * 市部 悠斗 ¹、川方 裕則 ¹、佐脇 泰典 ¹ (¹立命館大学)	S10. 活断層		P16-03	単点常時微動観測による新大阪駅周辺の上町断層位置の推定 *赤澤隆士'、山田浩二'('(株)阪神コンサルタンツ)
P01-07	ボアホール DAS データを用いた浅部の Q 値の推定に向けて * 中原 恒 1 (1 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)	P10-01	衛星画像データを用いたミャンマー地震に伴う地表断層周辺の三成分変位解析 *川崎 慣治 '、大沼 巧 '、影島 充万 '、高橋 恭平 '、山口 悠哉 '、原 彰男 ' ('(株)地球科学総合研究所)	P16-04	微動観測に基づく地すべり地域 - 徳島県美馬市 - の地盤震動特性と地盤構造 * 野口 竜也 ¹、香川 敬生 ¹、河野 勝宣 ¹ (¹鳥取大学工学部社会システム土木系学科高密度微動アレイ探査による地盤構造の解釈と意義
P01-08	Anisotropic Earthquake Seismology: 構造起因と震源起因の非ダブルカップル成分の分離に向けて * 川勝 均¹、吉澤 和範²、西田 究¹、竹尾 明子¹、悪原 岳¹、山谷 里奈¹、高木 涼 太³(¹ 東京大学地震研究所²北海道大学³東北大学)	P10-02	三陸・関東・南海・島原天草の津波碑の地域特性と分類 * 木畑 宏士郎 '、馬場 俊孝 ' ('徳島大学) 対話型生成 AI を用いた歴史地震の震度判定の改良	P16-06	* 先名 重樹 ¹ (¹国立研究開発法人防災科学技術研究所) 能登半島地震による断層変位簡所 - 珠洲市若山地区 - の微動特性
			* 大邑 潤三 1 、北本 朝展 2 、加納 靖之 1 、橋本 雄太 3 (1 東京大学地震研究所、 2 国 立情報学研究所、 3 国立歴史民俗博物館)	P16-07	*種井優斗 ¹ 、野口竜也 ¹ 、香川敬生 ¹ (¹ 鳥取大学) 微動 H/Vに基づく断層位置推定およびS波反射法地震探査-福岡県福津市西山断原
S03. 地殻 P03-01	変動・GNSS・重力 GNSS 時系列解析よる東海地方における長期間の地殻変動の時空間変化の特徴 * 広町 佳太 ¹ 、古岡 祥一 ²¹ (「神戸大学大学院理学研究科、 ² 神戸大学都市安全研究 センター)	P10-04	オンラインの海外の新聞データベースの全文検索による 1870 年代の横浜の有感地 震情報の収集 * 服部 健太郎 1 (1 関西大学)	P16-08	帯西山区間 * 吉見 雅行'、丸山 正'、宮下 由香里'、大上 隆史'、太田 耕輔'('産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門) 小笠原硫黄島における断層近傍での表層地盤のS波速度構造の推定
P03-02	センター) 2003 年十勝沖地震の初期余効変動再訪 * 伊 東 優 治 ¹、Twardzik Cédric²、Vergnolle Mathilde²、Maubant Louise¹		験・岩石力学・地殻応力	P16-09	小立体研究 (1973年) 「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関次では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」というには、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」というには、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」」というには、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」」というには、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」」というには、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、「関係では、」というには、「関係では、「関係では、」というには、「関係では、」」というには、「関係では、「関係では、」というには、「ののでは、」というには、「ののでは、」というには、「ののでは、」というには、「ののでは、」というには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これ
P03-03	「東京大学地震研究所、 ² Géoazur) 北海道北部〜石狩低地にかけての詳細なひずみ速度場と地震活動・活断層との対応 *大園 真子 ¹ 、高橋 浩晃 ¹ (1北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測セ	P12-01	Complex sample-size effect in high-velocity frictiondue to thermoelastic instability inferred by numerical simulation * 野田 博之 1 (1 京都大学 防災研究所)	P16-10	* 大橋 優 「、 金島 売次 ² 、 南方 昭寛 ² 、 渡邉 禎頁 ¹ 、 竹中 博士 ¹ (¹ 岡山大学、 ² 元阳 山大学) 中央構造線三野断層とその周辺の重力異常による密度構造推定
P03-04	ンター) 深部ボアホール地殻活動総合観測装置による 1997 年伊豆群発地震の震源域近傍で	P12-02	一軸圧縮条件下における人工水晶の圧電分極による電圧応答 * 小川 和也 ¹、川方 裕則 ¹、佐脇 泰典 ¹(¹立命館大学)	P16-11	* 高柳 芽依 ¹、野口 竜也 ¹、香川 敬生 ¹(¹ 鳥取大学) 2018 年大阪府北部の地震における茨木市の建物被害分布における地盤増幅の影響
	の歪・傾斜観測と群発地震の発生メカニズム * 向井 厚志 '、石井 紘 ² ('福山市立大学都市経営学部、 ² 地震予知総合研究振興会)	S13. 地殼流			後藤 彰太 ^{1,2} 、 * 後藤 浩之 ² 、Chakraborty Anirban³(¹ 中日本高速道路、 ² 京都大学、 ³ 法政大学
P03-05	2022 年トンガ噴火からの気圧波が励起する歪みの理論的研究 * 横瀬 藤恒 ¹ 、綿田 辰吾 ² (¹ 東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻、 ² 東京大学 地震研究所)	P13-01	震源分布のモニタリングとトモグラフィ解析を組み合わせた地下流体流動の推定 ~ 奥会津地熱地域での涵養注水試験への適用例 ~ * 岡本 京祐 1 、青柳 直樹 1 、椋平 祐輔 2 、浅沼 宏 1 (1 産業技術総合研究所 2 東北大学)	P16-12	臨時地震観測記録を用いた KiK-net 陸前高田周辺の水平アレー伝達関数 * 笠松 健太郎 ¹ 、鈴木 文乃 ¹ 、引田 智樹 ¹ 、友澤 裕介 ¹ (「鹿島建設㈱技術研究所) 地震波干渉法を用いた八丈島の表面波の散乱減衰および内部減衰パラメータ推定
P03-06	南海トラフ想定震源域における GNSS-A 海底地般変動観測網 SGO-A の強化 * 渡邉 俊一 1 、永江 航也 1 、石川 直史 2 、中村 優斗 1 、松下 優 1 、横田 裕輔 3 1 海上保安庁海洋情報部、 2 海上保安大学校、 3 東京大学生産技術研究所)	P13-02	1997 年鹿児島県北西部地震震源域における 3 次元比抵抗構造と本震破壊との関係 * 松永 佳大 17 、相澤 広記 2 、浅森 浩一 3 、小川 大輝 4 、宇津木 充 5 、吉村 令慧 6 、山崎 健一 6 、内田 和也 7 、松島 健 2 、井上 智裕 8 、米盛 航平 7 、重松 弘道 7 (1 気象庁、		* 田中 瑞己 ¹ 、渡辺 俊樹 ¹ 、東 宏幸 ² 、小田 義也 ² (¹ 名古屋大学、 ² 東京都立大学)
P03-07	琉球海溝南部、宮古島沖における GNSS-A 海底地殻変動観測 * 柴田 淳宗 '、水野 晶曹 '、生田 領野 '、原田 靖 ² ([†] 静岡大学 、 ² 東海大学)		² 九州大学・大学院理学研究院・附属地震火山観測研究センター、 ³ 日本原子力研究 開発機構・東濃地科学センター、 ⁴ 日鉄鉱業株式会社、 ⁵ 京都大学大学院理学研究科・	S21. 惑星地 P21-01	恵震学 南極氷震観測をアナログサイトとした惑星地震探査研究
S05. 地球		P13-03	附属地球熱学研究施設火山研究センター、 ⁶ 京都大学防災研究所、 ⁷ 九州大学大学院 理学府 地球惑星科学専攻、 ⁸ 産業技術総合研究所) 精密制御定常震源システム ACROSS を用いたコーダ波干渉法による地震波速度の		* 西川 泰弘 '、田中 智 '、佐伯 和人 ³ 、山本 真行 '、山本 耕大 ⁴ 、小野寺 圭祐 ⁵ 、川 西太 一 ⁶ () 大阪教育大学 ² 宇宙航空研究開発機構 ³ 立命館大学 ⁴ 高知工科大学 5 岡山大学 ⁶ パリ地球物理研究所)
P05-01	RRF インド・オーストラリアプレートの沈み込みに伴うジャワ島下の3次元温度構造モデリング		時間変化の推定 * 馮 晨 1 、渡辺 俊樹 1 、生田 領野 2 、山岡 耕春 1 、辻 修平 3 (1 名古屋大学、 2 静岡大学、	P21-02	日本の戦略的火星着陸探査における地震観測 * 小野寺 圭祐 ¹ 、川村 太一 ² 、田中 智 ³ 、白石 浩章 ³ 、西川 泰弘 ⁴ (¹ 岡山大学惑星
	* 岡澤 健太 1 、末永 伸明 2 、吉岡 祥一 12 (1 神戸大学 大学院理学研究科 惑星学専攻、 2 神戸大学 都市安全研究センター)	P13-04	³ 海洋研究開発機構) フィリピン南部ミンダナオ島における 2023 年内陸群発地震とその余震活動 マヌエル シエン ^{1,2} 、* 北 佐枝子 ^{1,3} (¹ 政策研究大学院大学、 ² フィリピン火山地震		物質研究所、2パリシテ大学パリ地球物理研究所、3JAXA 宇宙科学研究所、4大阪教育大学)
S07. 地球	及び惑星の内部構造と物性		研究所、3国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター)	S24. 兵庫県	県南部地震から 30 年:内陸地震研究・ハザード予測の進展と展望
P07-01	Metastable olivine wedge と深発地震発生分布の空間的一致 * 宮崎 一希 ¹ 、中島 淳一 ² 、吉岡 祥一 ¹³ (¹ 神戸大学 都市安全研究センター、 ² 東	S14. 地震予		P24-01	日米韓の地震危険性が高い地域での地震ハザードモデリングと最新の配録・データ 処理技術による地震モニタリングに関する研究概要 * 中村 洋光 '、岩城 麻子 '、 内藤 昌平 '、 今井 隆太 '、 前田 宜浩 '、 藤原 広行
P07-02	京科学大学 地球惑星科学系、 ³ 神戸大学大学院理学研究科) 雑蔵動き用いた表面波トモグラフィーによる日本海周辺の3次元S波速度構造およ	P14-01	熱移送脱による地震誘発は成立しない * 藤井 英隆 ¹ 、 西原 克洋 ¹ 、 林 能成 ¹ (¹ 関西大学)		(1) 防災科学技術研究所 巨大地変災害研究領域 地震津波複合災害研究部門)
	び鉛i直異方性の推定 * 手塚 登万¹、吉澤 和範¹²、仲田 典弘³⁴、西田 究⁵(¹北海道大学大学院理学 院自然史科学専攻、²北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門。³Energy	P14-02	前震識別特徴量を用いたマグニチュード予測分布の改良 *野村 俊一 ¹ 、尾形 良彦 ² (¹ 早稲田大学 簡学学術院 会計研究科、 ² 統計数理研究所)		年7月 30 日カムチャツカ半島地震
	Geosciences Division, Lawrence Berkeley National Laboratory, Berkeley, CA, USA、 Department of Earth, Atmospheric and Planetary Sciences, Massachusetts Institute of Technology, Cambridge, MA, USA、 等東京大学地	P14-03	Re-examination of TEC anomalies in the ionosphere before large earthquakes * 小山 凱 '、 金子 善宏 ² (' 京都大学大学院、 ² 京都大学)		千島海溝南部で発生した(巨)大地震の顕著な前震活動 *原田 智也 1 、石辺 岳男 $^{2.3}$ (1 なし、 2 地震予知総合研究振興会、 3 統計数理研究所
D07 02	震研究所)	P14-04	南海トラフにおけるプレート固着・すべり予測システムのプロトタイプ構築 * 堀 高峰 ¹、中田 令子 ²、飯沼 卓史 ¹、日吉 善久 ¹、兵藤 守 ³、加納 将行 ¹ ²、佐藤	P25-02	通地P 波のバックプロジェクション解析を用いた 2025 年カムチャツカ半島地震における周波数依存した地震波放射過程 * 垂水 洗太郎 '、吉澤 和範'(北海道大学大学院理学研究院地球感星科学部門)
P07-03	豪州大陸の上部マントルにおける地震波速度不連続面と方位異方性の層状分布 * 吉澤 和範 ¹ 、垂水 洸太郎 ¹ (¹ 北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学部門)		大祐「(「国立研究開発法人海洋研究開発機構、 ² 東京大学大学院理学系研究科、 ³ 高知地方気象台、 ⁴ 東北大学大学院理学研究科)	P25-03	Dynamic Modeling of Accelerating Foreshocks and Rupture Processes in the 2025 Mw8.8 Kamchatka Earthquake
S09. 地震	活動 相互相関係数の中央値から抽出した日本列島周辺の相似地震活動	S15. 強震動		P25-04	* 渡邊 大起 '、金子 善宏 '、Kearse Jesse' ('京都大学) パックプロジェクション法と波形インパージョンから読み解く 2025 年 M _w 8.8 カ
P09-02	・ 五十間 候博 (「東京大学地震研究所) 沈み込み帯における上盤地形と地震規模分布の関係	P15-01	source-controlled f _{max} の存在可能性について * 小林 剣大 [†] ([†] 東京科学大学)		ムチャツカ半島地震の震源過程 * 柴田 律也'、久保 久彦'、鈴木 亘' (
P09-03	* 齋藤 航太 1、井出 哲 1 (1 東京大学)	P15-02	日向灘で発生した地震の応力降下量の地震規模と震源深さ依存性の検討 * 倉橋 奨 ¹、 宮腰 研 ¹、 入倉 孝次郎 ¹ († 愛知工業大学)	P25-05	2025 年カムチャッカ半島地震の震源過程 * 山中 佳子 ¹ (¹ 名古屋大学)
	異なる定義に基づく前震の発生頻度および前震の発生環境 * 村田 基将 ¹ 、井出 哲 ² 、安藤 亮輔 ² (¹ 東京大学理学部地球惑星物理学科、 ² 東京大学理学系研究科)	P15-03	Numerical modelling of strong ground motions during the Noto-Hanto earthquake on January 1, 2024, using the spectral element method. *Kirill Sementsov¹, Percy Galvez², Kazuhiro Somei³, Anatoly Petukhin¹	P25-06	2025 年カムチャッカ半島地震(Mw8.8)に伴う遠地津波の伝播特性 * 染矢 真好 1,23 、三反畑 修 1 、綿田 辰吾 1 、古村 孝志 1 1 東京大学 地震研究所 2 日本学術振興会 特別研究員(DC1)、 3 海洋研究開発機構)
P09-04	AELUMA 法を用いた 2023 年 10 月孀婦岩周辺で発生した中〜長周期帯域に卓越する震源の探索 * 青木 泰智¹、奥脇 亮¹(¹筑波大学)		(¹Kyoto University, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto, Japan, ²Earth Science, ETH Zurich, Zürich, Switzerland, ³Ohsaki Research Institute, Inc., Tokyo, Japan)	P25-07	桜島における光ファイパーを用いた DAS の低周波特性: カムチャツカ半島地震の解析 * 江本 賢太郎 1 、中原 恒 2 、西村 太志 2 、中道 治久 3 、廣瀬 郁 2 、田口 貴美子 2
P09-05	分布型音響センシングを用いた津軽海峡周辺の低周波地震の検出 * 馬場 慧 1,2 、荒木 英一郎 2 、横引 貴史 2 、天野 格 3 、酒井 亨 3 、関口 拓真 3 、野口 科子 4 (1 九州大学、 2 海洋研究開発機構、 3 電源開発株式会社、 4 地震予知総合研究	P15-04	既知の断層モデルと比較的単純な波形インパージョン設定を用いた場合の令和 6 年能登半島地震の震源過程 * 柴田 律也¹、久保 久彦¹、鈴木 亘¹(¹国立研究開発法人防災科学技術研究所)	P25-08	Bin Abdul Rahman Syed Idros ¹ 、米盛 航平 ¹ (¹ 九州大学、 ² 東北大学、 ³ 京都大学 千島・カムチャツカ地域における相似地震活動とプレート間固着 * 五十嵐 砂博 ¹ 、加藤 蜀土郎 ¹ (1 東京大学地震研究所)
P09-06	振興会) 海底観測によるカスカディア沈み込み帯北部、パンクーパー島沖の地震活動 * 尾鼻 浩一郎 '、塩原 肇 ² 、杉岡 裕子 ³ 、高橋 努 ¹ 、Riedel Michael ⁵ 、Lange	P15-05	2024 年能登半島地震を例とした強震動予測手法における断層パラメターの不確定性および多様性の検討 * 乗松 君衣 '、適田 晋次 ' ('東北大学災害科学国際研究所)	P25-09	* 五十嵐 俊博 ¹ 、加藤 愛太郎 ¹ (¹ 東京大学地震研究所) 2025 年カムチャツカ半島地震による津波警報への住民対応の地域比較 * 林 能成 ¹ 、高橋 浩晃 ² (「関西大学社会安全学部、 ² 北海道大学地震火山研究観測
	『毛舜 浩一郎 、 温原 輩 、 杉岡 伯子 、 高橋 労 、 Riedel Michael 、 Lange Dietrich * 、 Sun Tianhaozhe * 、 Schaeffer Andrew * 、 Douglas Karen * 、 Côté Michelle * 、 Hobbs Tiegan * 、 Stacey Cooper * 、 Wang Kelin * 、 Heesemann Martin * 、 Scherwath Martin * 、 Hutchinson Jesse * (海洋研究開発機構 ² 東	P15-06	* 来松 君衣 、 遠田 音次 * (* 東北大学 沢吉科子 国際研究所) 1993 年北海道南西沖地震の特性化震源モデルと震源近傍での強震動の推定 * 佐藤 智美 [†] (* 清水建設 (株))	P25-10	センター) 【再考】鯨類の集団座礁と大地震との関係 * 織原 義明!(1東京学芸大学教育学部)
	Martin Collerwath Martin Christinison Jesse Cara and Arman and Arm		2024年11月26日石川県西方沖の地震の震源過程		See Co. A China Co. Man Co. of States of May
Dec :-	京大学地震研究所、³ 神戸大学、⁴Geological Survey of Canada、⁵GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、ీOcean Networks Canada)		* 吉田 邦一 1 (1 福井大学)		
P09-07	京大学地震研究所、³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada) DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出 * 寒河江 皓大 ¹ 、加納 将行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)	P15-07	* 吉田 邦一 1 (1 福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 1 、田中 礼司 2 、入倉 孝次郎 3 (1 株式会社大崎総合研究所、 2 一般財団		
P09-07	京大学地震研究所、³ 神戸大学、⁴Geological Survey of Canada、⁵GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、⁵Ocean Networks Canada) DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出 * 寒河江 皓大¹、加納 将行²、矢部 優¹、内出 崇彦¹(¹ 産業技術総合研究所、² 東	P15-08	* 吉田 邦一 ¹ (¹ 福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程		
	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada) DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大 ¹ 、加納 狩行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (1 産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科) DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 掲二 朗 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、楠城 一嘉 ² 、高橋 成実 ³ (1海洋研究開発機構、	P15-08 P15-09 P15-10	* 吉田 邦一 ¹ (¹ 福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震(Mw7.8)の 震源過程 * 染井 一寛 ¹ 、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ (¹ 株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団 法人 GRI 財団、 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構 恵太郎 ¹ 、麻生 尚文 ¹ (¹ 東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ (¹ 防災科学技術研究所)		
P09-08	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada) DONET 海域地震觀測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出 * 寒河江 皓大 ¹ 、加納 狩行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (¹ 産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科) DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布 * 山本 揚二朗、矢田 修一郎 ¹ 、楠城 一嘉 ² 、高橋 成実 ³ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 静岡県立大学、 ³ 防災科学技術研究所) 南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索 * 藤 亜希子 ¹ 、加藤 愛太郎 ² 、荒木 英一郎 ¹ (¹ 海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所) 南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2) ~モデルの更新と N-net の導入~	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11	* 吉田 邦一 ¹ (¹ 福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震(Mw7.8)の 震源過程 * 染井 一寛 ¹ 、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ (¹ 株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団法人 GRI 財団 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構 恵太郎 ¹ 、麻生 尚文 ¹ (¹ 東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ (¹ 防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ¹ (¹ 気象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室)		
P09-08	京大学地震研究所、³ 神戸大学、"Geological Survey of Canada、「GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、「Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出・寒河江 皓大 '、加納 将行 '、矢部 優 '、内出 崇彦 '(' 産業技術総合研究所、'東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布 * 山本 揚二朗 '、矢田 修一郎 '、楠城 一嘉 '、高橋 成実 ' (「海洋研究開発機構、	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12	* 吉田 邦一 (「福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ (「株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団法人 GRI 財団、 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 '、麻生 尚文 ' (「東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ (「防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ' (「気象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山 健 ¹ (「消防庁消防研究センター) 逐次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モ		
P09-08 P09-09 P09-10 P09-11	京大学地震研究所、³ 神戸大学、"Geological Survey of Canada、「GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、「Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大、加納 将行²、矢部 優¹、内出 崇彦¹(' 産業技術総合研究所、² 東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 揚三朗¹、矢田 修一郎¹、楠城 一嘉²、高橋 成実³('海洋研究開発機構、²静岡県立大学、³防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子¹、加藤 愛太郎²、荒木 英一郎¹('海洋研究開発機構、²東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)~モデルの更新と N-net の導入~*汐見 勝彦¹、松原 誠¹、仲西 理子²、藤江 剛²、浅野 陽一¹、三好 崇之¹(' 防災科学技術研究所、²海洋研究開発機構)紀尹場島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み*野田朱美¹、藤田 健一¹、宮岡一樹¹、中山和正¹(' 気象庁 地震火山部)	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12 P15-13	* 吉田 邦一 ' (「福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ ('株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団 法人 GRI 財団、 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 '、麻生 尚文 ' ('東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ (' 防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ' ('气象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山 健 ' (' 消防庁消防研究とンター) 逐次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モデリング * 今井 隆太 ¹ 、前田 宣浩 ¹ (' 国立研究開発法人防災科学技術研究所)		
P09-08 P09-09 P09-10	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁵ Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大 ¹ 、加納 将行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (「産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 掲二朗 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、楠城 一嘉 ² 、高橋 成実 ³ (「海洋研究開発機構、 ² 静岡県立大学、 ³ 防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子 ¹ 、加藤 愛太郎 ² 、荒木 英一郎 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)~モデルの更新と N-net の導入~ ² 汐見 勝彦 ¹ 、松原 張 ² 、中田 で導入~ ² 沙見 勝彦 ¹ 、松原 誠 ³ 、中西 理子 ² 、藤江 剛 ² 、浅野 陽一 ¹ 、三好 崇之 ¹ (「防災 科学技術研究所、 ² 海洋研究開発機構)紀伊半島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み *野田 朱美 ¹ 、藤田 健一 ¹ 、宮岡 一樹 ¹ 、中山 和正 ¹ (「気象庁 地震火山部)余震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察 *熊澤 貴雄 ¹ 、尾形 良彦 ¹ (「統計数理研究所)時空間 ETAS モデルにおける簡便化された非等方空間カーネル	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12	* 吉田 邦一 ' ('福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ ('株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団法人 GRI 財団、 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 '、麻生 尚文 ' ('東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ' ('所災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 降仁 ' ('気泉庁気象研究所・地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山 健 ' ('消防庁消防研究センター) 逐次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モデリング * 今井 隆太 ¹ 、前田 宣浩 ' ('国立研究開発法人防災科学技術研究所) 強震動シミュレーションにおける断層・波動伝播モデリングスキームの改良 * 岩城 麻子 ¹ 、今井 隆太 ¹ 、前田 宣浩 ¹ 、森川 信之 ¹ 、藤原 広行 ¹ ('防災科学技術研究所) 東京大学地震研究所の強震観測網のリアルタイムデータ伝送化		
P09-08 P09-09 P09-10 P09-11 P09-12	京大学地震研究所、³神戸大学、"Geological Survey of Canada、「GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、「Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大¹、加納 将行²、矢部 優¹、内出 崇彦¹(¹産業技術総合研究所、²東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 揚二朗¹、矢田 修一郎¹、楠城 一嘉²、高橋 成実³(¹海洋研究開発機構、²静岡県立大学、³防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子¹、加藤 愛太郎²、荒木 英一郎¹(¹海洋研究開発機構、²東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)~モデルの更新と N-net の導入~*汐見 勝彦¹、松原 誠、、仲西 理子²、膝江 剛²、浅野 陽一¹、三好 崇之¹(¹防災科学技術研究所、²海洋研究開発機構)紀伊半島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み*野田 朱美¹、藤田 健一¹、宮岡一樹¹、中山 和正¹(¹気象庁 地震火山部)余震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察*熊澤 貴雄¹、尾形 良彦¹(¹統計数理研究所)	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12 P15-13 P15-14 P15-15	* 吉田 邦一 (「福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震(Mw7.8)の 震源過程 * 染井 一寛 ¹、田中 礼司 ²、入倉 孝次郎 ³(† 株式会社大崎総合研究所、² 一般財団法人 GRI 財団、3 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 ¹、麻生尚文 ¹(† 東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹(† 防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ¹(1 气象庁気象研究所 地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性(3) * 畑山 健 ¹(* 消防庁消防研究セシター) 逐次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モデリング * 今井 隆太 ¹、前田 宣浩 ¹(† 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 強震動シミュレーションにおける断層・波動伝播モデリングスキームの改良 * 岩城 麻子 ¹、今井 隆太 ¹、前田 宣浩 ¹、森川 信之 ¹、藤原 広行 ¹(「防災科学技術研究所) 東京大学地震研究所の強震観測網のリアルタイムデータ伝送化 * 三宅 弘惠 ¹ ²、安藤 美和子 ²、秋山 峻寛 ²、宮川 幸治 ²、上原 美貴 ²、古村 孝志 ²(† 東京大学大学院情報学環、² 東京大学地震研究所)		
P09-08 P09-09 P09-10 P09-11 P09-12 P09-13	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大 ¹ 、加納 将行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (「産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 掲二朗 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、楠城 一嘉 ² 、高橋 成実 ³ (「海洋研究開発機構、 ² 静岡県立大学、 ³ 防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子 ¹ 、加藤 愛太郎 ² 、荒木 英一郎 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)ペモデルの更新と N-net の導入ペーミットの更新と N-net の導入ペーシリ、一部が開発、 ² 海洋研究開発機構)紀伊半島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み *野田 朱美 ¹ 、藤田 健一 ¹ 、宮岡 一樹 ¹ 、中山 和正 ¹ (「気象庁 地震火山部)余震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察 *熊澤 貴雄 ¹ 、尾形 良彦 ¹ (「統計数理研究所)時空間 ETAS モデルにおける簡便化された非等方空間カーネル *岩田 貴樹 ¹² (「県立広島大学 大学教育実践センター、 ² 統計数理研究所) 時空間 ETAS モデルを用いた新潟県中越地方および岩手・宮城内陸地域の地震活動の時空間解析 ⁸ 内田 順海 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、藤村 遼太郎 ¹ 、山田 接香 ²¹ (「東北大学大学院理学研究科、 ² 内田 間海 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、藤村 遼太郎 ¹ 、山田 接香 ²¹ (「東北大学大学院理学研究科、 ² 内田 間海 ¹ 、岡田 知己 ¹ 、藤村 遼太郎 ¹ 、「「中東大学大学院理学研究科、 ² 中間 第 ¹ 、同田 間海 ¹ 、同田 知己 ¹ 、藤村 遼太郎 ¹ 、「「中東大学大学院理学研究科、 ² 中間 第 ¹ 、同田 間海 ¹ 、同田 知己 ¹ 、藤村 遼太郎 ¹ 、「「中東大学大学院理学研究科、 ² 中田 間海 ¹ 、同田 知己 ¹ 、「藤村 遼太郎 ¹ 、「「中東大学大学院理学研究科、 ² 中田 間海 ¹ 、同田 明海 ¹ 、同田 知己 ¹ 、「藤村 遼太郎 ¹ 、「中田 大学大学院理学研究科、 ² 中田 前海 ¹ 、「回田 知己 ¹ 、「藤村 遼太郎 ¹ 、「中本大学大学院理学研究科、 ² 中国 ¹ 、「中本大学大学院理学研究科、 ² 中本大学大学院理学研究科、 ² 中国 ¹ 、「中本大学大学院理学研究科、 ² 中国 ¹ 、「中本大学大学院理学研究科、 ² 中国 ¹ 、「中本大学大学院理研究研究」(1)中本大学大学院理研究 ² 中国 ² 「中本大学学院理学研究科、 ² 中国 ² 「中本大学学院理学研究科、 ² 中国 ² 「中本大学学院理学研究科、 ² 中国 ² 「「中本大学学院学研究科」(1)「中本大学学院研究科学研究科学研究科学研究研究研究研究研究研究研究研究研究研究研究研究研究研究	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12 P15-13 P15-14 P15-15	* 吉田 邦一 ' ('福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ²、入倉 孝次郎 ³ ('株式会社大崎総合研究所、² 一般財団法人 GRI 財団、³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 '、麻生尚文 ' ('東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ' ('防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ' ('気象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山 健 ' ('消防庁消防研究センター) 逐次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モデリング * 今井 隆太 '、前田 宣浩 ' ('国立研究開発法人防災科学技術研究所) 強震動シミュレーションにおける断層 ・波動伝播モデリングスキームの改良 * 岩城 麻子 '、今井 隆太 '、前田 宣浩 ' (本語 小家川 信之 '、藤原 広行 ' (「防災科学技術研究所) 東京大学地震研究所の強震観測網のリアルタイムデータ伝送化 * 三宅 弘惠 ' ²、安藤 美和子 ²、秋山 峻寛 ²、宮川 幸治 ²、上原 美貴 ²、古村 孝志 ² ('東京大学大学院情報学環、² 東京大学地震研究所) グラフニューラルネットワークを用いたリアルタイム震度時系列予測モデルの検討 * 渡辺 豪太 '、金 亜伊 ' ('横浜市立大学)		
P09-08 P09-09 P09-10 P09-11 P09-12 P09-13	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大 ¹ 、加納 将行 ² 、矢部 優 ¹ 、内出 崇彦 ¹ (「産業技術総合研究所、 ² 東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 掲二朗 ¹ 、矢田 修一郎 ¹ 、楠城 一嘉 ² 、高橋 成実 ³ (「海洋研究開発機構、 ² 静岡県立大学、 ³ 防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子 ¹ 、加藤 愛太郎 ² 、荒木 英一郎 ¹ (「海洋研究開発機構、 ² 東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)~モデルの更新と N-net の導入~ ² 夕見 勝立、中変 重ま ² 、藤江 剛 ² 、浅野 陽一 ¹ 、三好 崇之 ¹ (「防災 科学技術研究所、 ² 海洋研究開発機構)紀伊半島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み*野田 朱美 ¹ 、藤田 健一 ¹ 、宮岡 一樹 ¹ 、中山 和正 ¹ (¹ 気象庁 地震火山部)余震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察*震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察*港間 貴樹 ^{1,2} (「県立広島大学 大学教育実践センター、 ² 統計数理研究所)時空間 ETAS モデルにおける商便化された非等方空間カーネル*岩田 貴樹 ^{1,2} (「県立広島大学 大学教育実践センター、 ² 統計数理研究所)ETAS モデルを用いた新潟県中越地方および岩手・宮城内陸地域の地震活動の時空間解析*内田 明海 ¹ 、同田 知己 ¹ 、藤村 遠太郎 ¹ 、田上 綾香 ^{2,1} (「東北大学大学院理学研究科、 ² 国立研究開発法人産業総合技術研究所)地熱地域における微小地震カタログの特性が ETAS 解析結果に与える影響	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12 P15-13 P15-14 P15-15 P15-16 P15-17	* 吉田 邦一 ' ('福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ²、入倉 孝次郎 ³ ('株式会社大崎総合研究所、² 一般財団法人 GRI 財団、³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 '、麻生尚文 ' ('東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ ('防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ' ('気象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山健 ¹ (' 消防庁消防研究センター) 窓次加法的ガウス過程に基づく南海トラフ地震の地震動シミュレーションの代理モデリング * 今井 隆太 ¹、前田 宜浩 ' (' 国立研究開発法人防災科学技術研究所) 強震動シミュレーションにおける断層・波動伝播モデリングスキームの改良 * 岩城 麻子 ¹、今井 隆太 ¹、前田 宜浩 ¹、森川 信之 ¹、藤原 広行 ¹ (' 防災科学技術研究所) 東京大学地震研究所の強震観測網のリアルタイムデータ伝送化 * 三宅 弘恵 ¹²、安藤 美和 ² ? 秋山 峻寛 ²、宮川 幸治 ²、上原 美貴 ²、古村 孝志 ² ('東京大学大学院情報学環、²東京大学地震研究所) グラフニューラルネットワークを用いたリアルタイム震度時系列予測モデルの検討 * 渡辺 豪太 ¹、金 亜伊 ¹ (' 横浜市立大学) アルタイム震度時系列予測モデルの検討 * 渡辺 豪太 ¹、金 亜伊 ¹ (' 横浜市立大学) としM 法の検証 * 林元 直樹 ¹、小寺 祐貴 ² (' 東京大学地震研究所 , * 気象研究所)		
P09-08 P09-09 P09-10 P09-11 P09-12 P09-13 P09-14	京大学地震研究所、 ³ 神戸大学、 ⁴ Geological Survey of Canada、 ⁵ GEOMAR Helmholtz Centre for Ocean Research Kiel、 ⁶ Ocean Networks Canada)DONET 海域地震観測網を用いた浅部テクトニック微動の網羅的検出*寒河江 皓大¹、加納 将行²、矢部 優¹、内出 崇彦¹(¹ 産業技術総合研究所、² 東北大学大学院理学研究科)DONET2 観測網による室戸沖における超低周波地震と通常地震の分布*山本 揚二朗¹、矢田 修一郎¹、楠城 一嘉²、高橋 成実³(¹ 海洋研究開発機構、² 静岡県立大学 ³ 防災科学技術研究所)南海トラフ浅部の包括的な微動カタログの作成に向けた、地震計シグナルの分類指標の探索*藤 亜希子¹、加藤 愛太郎²、荒木 英一郎¹(¹海洋研究開発機構、² 東京大学地震研究所)南海トラフ周辺を対象とした新たな三次元地震波速度構造を用いた震源決定の試行(2)~モデルの更新と N-net の導入~*汐見 勝彦¹、松原 誠¹、仲西 理子²、膝江 剛²、浅野 陽一¹、三好 崇之¹(¹ 防災科学技術研究所、² 海洋研究開発機構)記伊半島下で発生する深部低周波微動の放射エネルギーに基づく短期的 SSE 検出の試み*野田 朱美¹、藤田 健一¹、宮岡 一樹¹、中山 和正¹(¹ 気象庁 地震火山部)余震活動における ETAS パラメータ変動についての予備的考察*熊澤 貴雄¹、尾形 良彦¹(¹ 統計数理研究所)時空間 ETAS モデルにおける簡便化された非等方空間カーネル*岩田 貴樹¹²(¹県立広島大学 大学教育実践センター、² 統計数理研究所)時空間 ETAS モデルにおける簡便化された非等方空間カーネル*岩田 貴樹¹²(¹県立広島大学 大学教育実践センター、² 統計数理研究所)	P15-08 P15-09 P15-10 P15-11 P15-12 P15-13 P15-14 P15-15 P15-16 P15-17 P15-18	* 吉田 邦一 ' ('福井大学) 近地強震記録から推定した 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震 (Mw7.8) の 震源過程 * 染井 一寛 '、田中 礼司 ² 、入倉 孝次郎 ³ ('株式会社大崎総合研究所、 ² 一般財団法人 GRI 財団、 ³ 愛知工業大学) 地表地震断層直上における建物応答の評価 * 構恵太郎 ¹ 、麻生 尚文 ¹ ('東京理科大学) マルチモーダル大規模言語モデルを用いた被害写真に基づく震度推定の試み * 久保 久彦 ¹ ('防災科学技術研究所) 長周期地震動階級の揺れから揺れ予測の手法の検討 * 西宮 隆仁 ¹ ('気象庁気象研究所地震津波研究部第三研究室) F-net 広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性 (3) * 畑山 健 ¹ ('消防庁消防研究センター)		

10月22日(水) 口頭発表

A 会場(5 階国際会議室 501)午前 S24. 兵庫県南部地震から 30 年: 内陸地震研究・ハザード予測 S09. 地震活動 B 会場 (4 階会議室 409 + 410) 午前 D 会場(4 階会議室 413 + 414)午前 C 会場 (4 階会議室 411 + 412) 午前 S15. 強震動·地震災害 S05. 地球熱学 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 S01. 地震の理論・解析法 S25.2025 年 7 月 30 日カムチャツカ半島地震 招待講演(計20分:講演時間16分:質疑応答4分/計15分:講演時間通常講演(講演時間12分:質疑応答3分) 诵常講演 (講演時間 12 分·質疑応答 3 分) 通常講演(講演時間12分・質疑応答3分) 通常講演 (講演時間 12 分・質疑応答 3 分) 座長:高橋 浩晃、大鶴 啓介 座長:西田究、土井恵治、久保久彦、田中信也 座長:大澤亮、 座長:山田 真澄、植竹 富-| 使民: 山田 月辺・12日 | 12日 S24-01[#] 1995 年兵庫県南部地震以降の活断層・古地震研究に基 9:00 S09-07 と地震・火山活動の開連性
* 未永 伸明 ¹、吉岡 祥一 ¹²、Vlad Manea³、Marina Manea³、Erika Moreno⁴、季 頻鋒 ⁵(神戸大学 都市 安全研究センター、² 神戸大学 大学院理学研究科 惑星学 専攻 ³メキシコ国立自治大学 地球科学研究所 計算地球 ダイナミクス研究室、⁴ 東京大学 地震研究所 日本列島モニタリング研究センター、⁵ 中国科学院 チベット高原研究所 づく長期評価の進展と課題 * 近藤 久雄 1 (1 産業技術総合研究所 活断層・火山研 究所) 9:15 S05-02 北海道屈斜路カルデラ周辺の地下温度構造 9:20 S24-02 * 1995 年兵庫県南部地震を契機とした強震動地震学の発 9:15 S09-08 日本海溝沈み込み帯における滑り挙動の深さ方向変化に 9:15 S15-08 ETAS モデルを利用した緊急地震速報の高度化 北海道出部46ガルナプ高」2200世 「温度構造 * 中屋 晟¹、高橋 浩晃²、大園 真子²、岡 大輔³、鈴木 隆広³、 岡崎 紀俊³、 秋田 藤夫⁴(¹ 北海道大学大学院理 学院、² 北海道大学大学院理学研究院、³ 北海道立総合研 究機構⁴ 株式会社アクアジオテクノ) 对応した三領域での地震活動の比較 * 伊藤 悠太¹、西川 友章²、伊藤 喜宏²、大柳 修慧¹ (¹京都大学理学研究科、²京都大学防災研究所) * 山田 真澄 '、 Wu Stephen'、 矢野 惠佑 ²、 溜浏 功史 ³、野口 惠司 ³、林元 直樹 ⁴、 鶴岡 弘 ⁴(¹京都大学防災研究所地震防災研究部門、²統計数理研究所、³ 気象庁 * 入倉 孝次郎 ¹ (¹ 愛知工業大学地域防災研究センター) 東京大学地震研究所) 座長·大鶴 啓介. 高橋 浩晃 地震対蹠点の PKIIKP 波を用いたアジョイント法による 9:40 S24-03 満点計画―地震観測点を1万点に― 9:30 S09-09 Spatiotemporal Characteristics of Fast and Slow 9:30 S15-09 九州弧で発生する地震による強震動の空間的偏りと震源 9:30 S07-01 Spatiotemporal Characteristics of Fast and Slow earthquakes in the Hyuga-nada Region from OBS Observations * 胡 觀妤 ^{1,2}、篠原 雅尚 ²、山下 裕亮 ³、利根川 貴志 ⁴、山田 知朗 ²、悪原 岳 ²、望月 公廣 ²(「東京大学大学院 理学系研究科、²東京大学地震研究所、³宮崎公立大学人 文学部地域連携・防災研究センター、⁴国立研究開発法 地球内核表面の P 波速度推定 * 坪井 誠司 ¹、Butler Rhett²(¹海洋研究開発機構横浜 研究所 地球情報科学技術センター、²ハワイ大学) * 飯尾 能久 1 (1 京大防災研·NPO 阿武山·東北大学) 深さ * 筧 楽麿 ¹ (¹ 神戸大学) 人海洋研究開発機構) 中米沈み込み帯・エルサルパドル沖における繰り返し地 9:45 S15-10 2024年8月8日日向灘の地震により東京湾岸で観測さ 9:45 S07-02 回折波データを活用した波形インパージョン法による太 震の検出: プレート境界滑り挙動への示唆 * 植竹 富一¹(¹東京電力ホールディングス㈱) * 大林 徹 ¹、佐藤 嶺 ¹、河合 研志¹(¹東京大学) 9:45 S09-10 Slow Slip Event Detection and Associated Seismic 10:00 S15-11 Activation in the Hikurangi Subduction Zone, New 南海トラフ地震臨時情報の認知度と防災意識向上効果の 10:00 S07-03 波形インパージョンを用いた中米下 D"領域の三次元異経年変化 * 林能成¹(¹関西大学社会安全学部) な形インパージョンを用いた中米下 D"領域の三次元異 方性 S・P 波速度構造推定 * 佐藤 領¹、河合 研志¹(¹東京大学) 10:00 S24-04 $^{\#}$ 測地観測データを用いた内陸地震長期予測手法の開発 10:00 S09-11 * 西村 卓也 1 (1 京都大学) Zealand zealand * 武田 七海 1 、西川 友章 2 (1 京都大学 大学院 理学研究科、 2 京都大学防災研究所) フーリエスペクトルを用いた PSHA への適用を想定し 10:15 SO7-04 南大西洋下 D″領域の 3 次元 S 波速度構造推定に向けた たプレート境界型巨大地震に付随する余震震源の空間分 波形インバージョン手法の正確性向上のための改良 10:15 S24-05 ** 3 次元断層形状の動的破壊過程に与える効果とコミュニ 10:15 S09-12 低周波地震の群発的挙動とその深さ依存性 10:15 S15-12 ティ断層モデル整備の重要性 下村 海渡 1、麻生 尚文 1 (1 東京理科大学) 波形インバージョン手法の正確性向上のための改良 * 大鶴 啓介 ¹、河合 研志 ¹(¹ 東京大学) 布の評価 * 菅原 法城 1 、野津 厚 1 、能島 暢呂 2 、福永 勇介 1 、長 *安藤 亮輔 1 (1東京大学) 坂陽介¹(¹港湾空港技術研究所、²岐阜大学) 10:30 休憩 休憩 10:30 座長: 久保 久彦 座長 : 三好 崇之、三反畑 修 座長:大島 光貴、引間 和人 座長:鈴木 亘、藤井 雄士郎 10:45 S24-06 地震動予測モデルのための強震動情報共通基盤の構築 * 森川 信之 '、岩城 麻子 '、松本 雄馬 '、今井 隆太 '、秋山 伸一 '、前田 宜浩 '、鈴木 亘 '、久保 久彦 '、先名 重樹 '、河合 伸一 '、中村 洋光 '、藤原 広行 ' (' 防災科 10:45 S09-13 今日の稠密な計測震度分布と、明治大正時代の体感震度 10:45 S15-13 地震動予測時のアスペリティの設定の高度化に向けた 10:45 S25-01 S-net、DONET、N-net により観測された 2025 年カ 分布の比較による、古い地震の震源推定の試み * 浜田 信生¹(¹なし) * 大島 光貴¹('清水建設技術研究所 企画部 企画運営 * 鈴木 亘¹、久保田 達矢¹、中村 武史²、青井 真¹、近 S-net、DONE1、N-netにより観測された 2025 年カムチャツカ半島地震に伴う津波 * 鈴木 亘 '、久保田 違矢 '、中村 武史 ²、青井 真 '、近 貞 直孝 '、三好 崇之 ¹ (「国立研究開発法人防災科学技術研究所、²一般財団法人電力中央研究所) 11:00 S24-07 長大活断層のセグメント境界における破壊停止に関する 11:00 S09-14 N-net を用いた南海トラフ浅部微動活動のモニタリング 11:00 S15-14 1855 年安政江戸地震の新たな震度データに基づく震源 11:00 S25-02 Wave gradiometry を用いた 2025 年カムチャツカ半 考察 一日奈久断層帯の中・南部区間境界における地殻 横造一 N-net を用いた南海トラフ浅部微動活動のモニタリング 11:00 S15-14 1855 年安政江戸地震の新たな震度データに基づく震源 11:00 S25-02 Wave gradiometry を用いた 2025 年カムチャツカ半 特性の推定 常鈴木文乃¹、引田智樹¹(¹ 鹿島建設 技術研究所) */小木曽 仁¹、対馬 弘晃¹(¹ 気象研究所) * 青柳 恭平 ¹、高橋 秀暢 ¹(¹(一財)電力中央研究所) 座長・西田 空 大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測セン 11:30 S01-02 波形相関を用いた新たな超低周波地震検出手法について 11:30 S09-16 2023年の伊豆大島北部における火山性地震の時空間分 11:30 S15-16 2016年能本地震の震源モデルの再検討 * 纐纈 一起 1 (1 慶應義塾大学) の検証 ·石原 祐太朗 ¹、伊藤 喜宏 ² (¹京都大学、²京都大学 * 荒川 日南子 ¹、麻生 尚文 ¹(¹ 東京理科大学) 防災研究所) 11:45 S01-03 地震波減衰の潮汐ひずみ依存性 11:45 S09-17 " 地震モーメント比 " から見た霧島火山における地震活 11:45 S15-17 内陸地震に対する気象庁マグニチュード vs 地震モーメ 11:45 S25-05 津波波形記録から見た 2025 年カムチャツカ地震 ント関係の再評価と断層長・断層変位のスケーリング則 *川瀬博¹、仲野健一²、入倉孝次郎³(¹(一財)日本 建築総合試験所、²安藤・ハザマ技術研究所、³愛知工業 * 手老 勇登 1、中島 淳一 1 (1東京科学大学) 動 * 松本 聡 1 、平田 一聖 2 、永山 勇志 2 、江本 賢太郎 1 、 松島 健 1 、市原 美惠 3 、行竹 洋平 3 、八木原 寬 4 (1 九州 (M8.8) のすべり分布 * 藤井 雄士郎 ¹、佐竹 健治 ²(「建築研究所 国際地震工 学センター、²国立中央大学(台湾)) 大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター、²九 州大学大学院理学府、³東京大学地震研究所、⁴ 鹿児島大 学大学院理工学研究科) 大地震での地震動振幅の飽和を考慮した気象庁マグニ チュードとモーメントマグニチュードの関係式 * 引間 和人¹(¹東京電力ホールディングス株式会社 経 営技術戦略研究所 技術開発部 環境・エネルギーエリ ア)

**
12:00 S25-06 SWOT衛星を用いた 2025 年カムチャツカ半島地震津 波インパージョン解析 ** 石島 清宏 ¹²、綿田 辰吾³(¹東京大学大学院理学系研 究科 地球惑星科学専攻、² エム・アール・アイリサー チアソシエイツ株式会社、³東京大学地震研究所) 12:00 S01-04 成長する太陽コロナホールによって巨大地震や大規模な 12:00 S09-18 広周波数帯域にわたる繰り返しトラップドア型断層破壊 12:00 S15-18 火山噴火を誘発できるのか *三反畑 修 ¹、武村 俊介 ¹ (¹ 東京大学地震研究所) * 内野 公雄 1 (1himawarinowa.lab)

は招待講演

A 会場(5 階国際会議室 501)午後 B 会場 (4 階会議室 409 + 410) 午後 C 会場 (4 階会議室 411 + 412) 午後 S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力 S19. 地震一般・その他 S15. 強震動·地震災害 S25.2025 年 7 月 30 日カムチャツカ半島地震 S16. 地盤構造・地盤震動 通常講演(講演時間 12 分·質疑応答 3 分) 通常講演(講演時間 12 分・質疑応答 3 分) 通常講演(講演時間 12 分・質疑応答 3 分) 座長:富田史章、豊国源知 座長: 小村 健太朗 座長:長坂 陽介 13:30 S25-07 カムチャッカ海溝沿いの地震間すべり欠損速度の再検討 13:30 S12-01 乾燥石英の温度依存摩擦特性と速度状態依存則に基づく 13:30 S15-19 地震動生成モデルを用いた確率論的地震ハザード評価 不安定すべりの解析 * 打越 翔也 ¹²、佐久間 博 ²、片山 郁夫 ³、河合 研志 ¹(¹東京大学大学院、²物質・材料研究機構、³広島大学) * 松本 雄馬 1 、八百山 太郎 2 、李 尚元 2 、岩城 麻子 1 糸井 達哉 2 (1 防災科学技術研究所、 2 東京大学) *富田 史章 1 (1東北大学災害科学国際研究所) 13:45 825-08 2025年カムチャツカ地震:極めて短い繰り返し間隔と 13:45 812-02 防災科研地震観測井のコア変形法地殻応力測定-兵庫、13:45 815-20 令和6年能登半島地震の震源域の建物被害に寄与した強 てい所結 * 深畑 幸俊 1 、八木 勇治 2 、奥脇 亮 2 、高川 智博 3 、遠田 晋次 4 $(^1$ 京都大学、 2 筑波大学、 3 港湾空港技術研究所、 4 東北大学) 広島、山口県観測井の事例-*小村健太朗'('防災科学技術研究所,巨大地変災害研究領域,地震津波発生基礎研究部門) 震動特性の解明を目的とした観測微動データに関する検 震動特性の解明を目的とした観測成動デーダに関する検 討 *伊藤 恵理¹、川瀬 博²、山中 宏起³、松島 信一⁴、長 嶋 史明⁴()建築研究所 国際地震工学センター、²日本 建築総合試験所³、京都大学大学院工学研究科建築学専 攻、⁴京都大学防災研究所) 座長:小平秀-14:00 S15-01 東北沖地震震源断層掘削: IODP Exp. 405 JTRACK 航 14:00 S15-21 近隣地点間の常時微動 H/V とサイト増幅特性の関係に海蝦要 * 小平 秀一¹、氏家 恒太郎²、Conin Marianne³、Regalla Christine⁴、Kirkpatrick James⁵、Fulton Rejalla Christine⁴、Kirkpatrick James⁵、Fulton Rejalla Christine⁴、Fulton Rejalla Christine⁴ Fulton Rejalla Christine⁴ Fulton Rejalla Christine⁴、Fulton Rejalla Christine⁴ Fulton Rejalla Christine Rejalla Ch 東北沖地震震源断層掘削:IODP EXP. 405 JTRACK 797 海概要 海概要 * 小平 秀一 ¹、氏家 恒太郎 ²、Conin Marianne³、 Regalla Christine⁴、Kirkpatrick James⁵、Fulton Patrick⁵、前田 玲奈 ¹、奥津 なつみ ¹、江口 暢久 ¹、 IODP Exp.405 Science Party⁷(¹海洋研究開発機構、²筑波大学、³University of Lorraine、⁴Northern Arizona University、⁵University of Nevada、 ⁶Cornell University、⁷IODP Exp.405 Science Party)

14:00 S25-09 カムチャツカ半島で過去に発生した巨大地震 * 佐竹 健治 1 、藤井 雄士郎 2 $(^1$ 国立中央大学 (台湾)、 2 建築研究所) 座長: 木村 春里 14:15 S25-10 2025年7月30日カムチャッカ半島地震 (Mw8.8) 14:15 S19-02 令和6年能登半島地震に際する防災情報と地震動予測地 14:15 S16-01 地中はぎとり波を用いたスペクトルインバージョン解析 に基づく地盤減衰評価の試み * 桐田 史生¹、渡部 豪¹、中西 龍二¹、鈴木 晴彦²(¹国 立研究開発法人日本原子力研究開発機構、²応用地質株 による火山噴火の誘発の可能性 * 西村 太志 1 (1東北大学) 17 日本の 17 日本 17 式会社) 14:30 S25-11 2025年カムチャツカ半島巨大地震: スラブ下のマント 14:30 S19-03 citizen science としての瓜生島 (沖の浜) 研究~別府 14:30 S16-02 空間自己相関法により Rayleigh 波減衰係数を推定する ル上昇流の影響 *豊国 源知 ¹、趙 大鵬 ¹(¹東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター) 海に沈む石組みの発見 * 松島 文子 「、安井 翔 「(神戸大学海洋文化遺産プロジェクト大分チーム) 試み * 木村 春里 ¹、盛川 仁 ¹ (¹ 東京科学大学) 14:45 S25-12 海溝型地震起源の大気ラム波の指向性と断層特性の関 14:45 S16-03 表面波探査と地震波干渉法による浅部地盤構造探査と可 被固定, 例化 * 居樹 幸太朗 '、 下井 敬 ¹、 高橋 広人 ²、 護 雅史 ³、 鈴 木 晴彦 ⁴(¹ 兵庫県立大学、² 名城大学、³ 名古屋大学、 ⁴ 応用地質株式会社) 係:2025 年カムチャッカ地震と 2011 年東北地方太平 洋沖地震の比較 *中島健介¹(¹九州大学大学院理学研究院) 15:00 S25-13 物理的ウエーブレットを用いた歪みエネルギー蓄積の実 時間監視:2025 年カムチャッカ半島 M8.8 地震とトカ